

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
1-1 学生確保の見通し	1
1-1-1 定員充足の見込み	1
1-1-2 他大学理工系学部在籍者に対するアンケート調査	2
1-1-3 社会人に対する入学意向アンケート	4
1-1-4 外国人留学生の学生確保の見通し	7
1-1-5 学生確保の見通し（まとめ）	8
1-1-6 学生納付金の設定と考え方	9
1-2 学生確保に向けた具体的な取組状況	9
2 人材需要の動向等社会の要請	10
2-1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	10
2-1-1 教育研究上の目的	10
2-1-2 養成する人材	10
2-2 上記「2-1」が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	10

学生の確保の見通し等を記載した書類
[京都先端科学大学大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻]

本学では、工学研究科 機械電気システム工学専攻 博士課程前期・博士課程後期の設置にあたり、学生確保の見通し、人材需要の動向及び社会のニーズを踏まえ、博士課程前期の入学定員（15人）、博士課程後期の入学定員（2名）は妥当であると判断し、また、工学研究科の修了生の進路確保にも問題はないと判断している。

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1-1 学生の確保の見通し

1-1-1 定員充足の見込み

入学定員設定の考え方として、全国と同系列の研究科への志願動向を踏まえるとともに、周辺地域における同系列の研究科の状況（表1）から判断して、博士課程前期の入学定員を15人、博士課程後期の入学定員を2人とした。

表1) 周辺地域における同系列の研究科の入学定員

			博士課程前期 (修士課程)	博士課程後 期
同志社大学	理工学研究科	機械工学	80	8
立命館大学	理工学研究科	機械システム	140	11
龍谷大学	理工学研究科	機械システム工学	25	3
大阪工業大学	工学研究科	電気電子・機械工学	50	2
大阪工業大学	ロボティクス&デザイン工学 研究科	ロボティクス&デザイン工学専 攻	30	2
近畿大学	総合理工学研究科	メカニクス系工学	25	2
近畿大学	総合理工学研究科	エレクトロニクス系工学	30	2
大阪電気通信大学	工学研究科	工学専攻	100	16

工学分野の修士課程への進学率は、様々な分野の中で、理学分野の修士課程への進学率の次に高い値（資料1）を示しており、本学研究科が開設されれば、他の大学の学士課程修了者を受け入れることも可能であり、また、本学の工学部が完成年度に達すれば、内部から進学する学生を受け入れることができると考えられる。本学工学研究科は、基礎となる学部で

ある工学部と同時開設（平成 32 年 4 月）を予定している。このため同時開設する工学部が卒業生を出すまでの間は、内部進学する学生が存在していない。このため、平成 32 年度入学の学生募集の対象は、他大学の学部卒業生、社会人、海外からの留学生等となる。

さて、本学が平成 32 年 4 月に設置を計画している工学研究科機械電気システム工学専攻（博士課程前期・博士課程後期）の学生確保について考える場合、学生確保の最も直接的な根拠となるデータは、本学工学研究科が開設される平成 32 年 4 月に学部を卒業して大学院に進学する予定の学部生、社会人、留学生の入学意向に関する調査データである。

1-1-2 他大学理工系学部在籍者に対するアンケート調査

学部新卒者の学生確保の見通しについては、他大学理工系学部在籍者に対するアンケート調査を用いて、博士課程前期、博士課程後期のそれぞれについて説明する。

<京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻に係る Web アンケート調査結果概要>

新研究科設置計画の実行にあたっては、実際の学生募集の対象としている学部新卒者や博士課程前期・修士課程新修了者の新研究科新専攻に対するニーズについて、客観的データに基づいて認識しておく必要がある。そこで本学では、理工系分野を専攻する他大学在籍学生等を対象とした Web アンケート調査を実施した。調査の概要と結果は以下の通りである。

1. 調査目的

令和 2 年 4 月に開設を計画している京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻に関して、他大学理工系学部在籍学生、他大学大学院理工系研究科博士課程前期在籍学生、理工系高等専門学校在籍学生が期待する教育内容、進学希望等を本学側が的確に把握し、今後の計画推進のための参考資料とすることを目的とする。

2. 調査対象と実施方法

他大学理工系学部在籍学生、他大学大学院理工系研究科博士課程前期在籍学生、理工系高等専門学校在籍学生を対象に、web アンケート調査を実施した。

調査実施に際しては、本研究科専任教員候補者と親交のある他大学理工系学部・理工系研究科教員、理工系高等専門学校教員に対して、教え子の学生に Web アンケート調査への回答をしてもらおうよう、協力の依頼を行った。学生にコンタクト可能な教員からアンケート回答フォームの Web サイトに至る URL を学生にメール配信をしてもらい、学生から直接回答を得ることができた。調査実施時には、回答者に対して新研究科新専攻に関する内容の周知を図る目的から、調査項目（資料 8）以外にリーフレット等を閲覧できる URL も参照可能な形態を取った。

3. 実施時期

令和元年 6 月 27 日(木)から令和元年 7 月 2 日(火)にかけて調査を実施した。

4. 回収状況

他大学理工系学部在籍学生、他大学大学院理工系研究科博士課程前期在籍学生、理工系高等専門学校在籍学生を対象に、web アンケート調査を実施した結果、日本人学生 66 人、外国人留学生 7 人の合計 73 人の学生から有効回答を得ることができた。

5. 調査結果（資料 8 Web アンケート調査結果 参照）

5. 1. 回答者の性別〔問 1〕

回答者に「性別」について伺ったところ、「男性」が 66 人、「女性」が 7 人、となった。回答者の約 9 割以上が「男性」であることがわかった。

5. 2. 在学学校の種類

回答者の「問 4 在学大学名」「問 5 在学学部学科名」「問 6 在学大学院の専攻名」の記載状況から、現在在学の学校種を判別すると、「学士課程（学部）在籍者」が 39 人、「大学院博士課程前期・修士課程」が 32 人、「高等専門学校」が 2 人となった。

5. 3. 京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻への入学希望〔問 9〕

学士課程（学部）と高等専門学校に在学する回答者 41 人に「京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻への入学希望」について伺ったところ、「ぜひ入学して学びたい」が日本人学生 7 人、外国人留学生 1 人の合計 8 人、「入学して学びたい」が日本人学生のみで 17 人、「あまり入学して学びたいと思わない」が日本人学生のみで 10 人、「まったく入学して学びたいと思わない」が日本人学生のみで 5 人、「自分の専門分野と異なる為、学部に編入して学びたい」が日本人学生のみで 1 人、となった。

「ぜひ入学して学びたい」と「入学して学びたい」の合計は日本人学生 24 人、外国人留学生 1 人の合計 25 人であり、同専攻の入学定員 15 人に照らせば、学士課程（学部）と高等専門学校の在学者のみで約 1.7 倍の実数が得られた。

5. 4. 京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻博士課程後期への入学希望〔問 11〕

大学院博士課程前期・修士課程に在学する回答者 32 人に「京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻博士課程後期への入学希望」について伺ったところ、「ぜひ入学して学びたい」が日本人学生のみで 2 人、「入学して学びたい」が日本人

学生 6 人、外国人留学生 2 人の合計 8 人、「あまり入学して学びたいと思わない」が日本人学生 9 人、外国人留学生 2 人の合計 11 人、「まったく入学して学びたいと思わない」が日本人学生 7 人、外国人留学生 2 人の合計 9 人、無回答が日本人学生のみで 2 人、となった。

「ぜひ入学して学びたい」と「入学して学びたい」の合計は日本人学生 8 人、外国人留学生 2 人の合計 10 人であり、同専攻の入学定員 2 人に照らせば、大学院博士課程前期・修士課程の在学者のみで 5.0 倍の実数が得られ、定員を満たす数値となった。

以上のように、他大学の学部卒業生等について、本学の工学研究科博士課程前期、博士課程後期に関して十分な数の入学希望者がいることが示された。これにより本学の工学研究科博士課程前期・博士課程後期に関して、中長期的に学生確保の見通しがあることが示された。

1-1-3 社会人に対する入学意向アンケート

本学工学研究科 博士課程前期・博士課程後期 機械電気システム工学専攻への入学意向を探るため、第 3 者機関である株式会社アンド・ディに委託し、企業に所属する社会人に対して本学大学院工学研究科への入学意向を調査するアンケート（資料 2）を実施した。以下にその概要と結果を述べる。

<調査概要>

- ・実施期間：平成 30 年 11 月 16 日（金）から 12 月 12 日（水）
- ・調査対象：近畿 2 府 3 県（京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県）の機械製造業の企業を中心とした 112 社の社員（750 人）
- ・調査方法：企業を經由してアンケート用紙（選択式及び記述回答式）を送付し、回答を依頼し、郵送により回収
- ・回答方法：調査票（資料 3）に添付したリーフレット（資料 4）を読み、回答
- ・回答者数：149 人
- ・調査機関：株式会社アンド・ディ（東京都港区）

1-1-3-1 博士課程前期への入学意向

750 人の社会人に対して、本学大学院工学研究科博士課程前期に対する入学意向を質問したところ、「ぜひ入学して学びたい」4 人、「入学して学びたい」46 人となった。（資料 2 の 10 ページ参照）「ぜひ入学して学びたい」と「入学して学びたい」とした入学希望者は 50 人（回答者全体の 34%）となり、博士課程前期の入学定員 15 人を上回っており、博士課程前期の入学定員 15 人の学生を確保することが可能であると判断することができる。

アンケート用紙の入学意向の理由記述欄には、「ロボット制御分野で学習したが、本当の

意味での先端的な技術に触れていたとは思えないので、機会があるのであれば学び直したい」「学部では学ぶ事ができなかったより専門的な知識を学ぶ事ができ、研究・開発職に役立てることができると考えたので」「先端の技術に触れることで今まで発想できなかった事や更に深掘りした知識の取得をして次の世代の開発を夢見たい」等の最先端の教育・研究に対する期待・希望が表されており、入学意向の確かさが裏付けられた。

1-1-3-2 博士課程後期への入学意向

750 人の社会人に対して本学大学院工学研究科博士課程後期に対する入学意向を質問したところ、「ぜひ入学して学びたい」1人、「入学して学びたい」15人となった。(資料2の11ページ参照)「ぜひ入学して学びたい」と「入学して学びたい」とした入学希望者は16人(回答者全体の11%)となり、博士課程後期の入学定員2人を上回っており、博士課程後期の入学定員2人の学生を確保することが可能であると判断することができる。

アンケート用紙の入学意向の理由記述欄には、「専門的な知識が身につくから」「博士号によるキャリアアップを狙えるから」「これからの産業分野を牽引していくような研究内容が多いため」等の理由が挙げられ、入学意向の確かさが裏付けられた。

1-1-3-3 社会人の学生確保の見通し

過去5年間の学校基本調査報告書を見ると、大学院工学分野の社会人の在籍状況は、次の2つの表の通りであり、修士課程の社会人の割合は約1.5%程度、博士課程の社会人の割合は約30%程度である。

大学院工学分野修士課程の社会人(国公私計)

	大学院修士課程			
	学生数		内社会人	
H26年度	(100.0)	66,541	(1.2)	842
H27年度	(100.0)	66,465	(1.4)	961
H28年度	(100.0)	65,890	(1.6)	1,060
H29年度	(100.0)	65,530	(1.7)	1,151
H30年度	(100.0)	66,857	(1.5)	1,038

出典：文部科学省「学校基本調査報告書」

大学院工学分野博士課程の社会人(国公私計)

	大学院博士課程			
	学生数		内社会人	
H26年度	(100.0)	13,297	(29.5)	3,926
H27年度	(100.0)	13,189	(29.1)	3,847

H28 年度	(100.0)	12,966	(29.9)	3,881
H29 年度	(100.0)	12,690	(29.5)	3,755
H30 年度	(100.0)	12,729	(30.3)	3,866

出典：文部科学省「学校基本調査報告書」

1-1-3-4 同分野の他大学院における進学状況

本学と同じ近畿に所在する 2 つの大学の工学分野の博士課程前期と博士課程後期の過去 5 年間の社会人学生数を確認すると次の表の通りであり、両大学とも一定数の社会人学生を受け入れている。

同分野の他大学院における社会人学生数（各大学のホームページから）

大阪工業大学 工学研究科 社会人学生数（人）

	博士課程前期	博士課程後期
H26	28	9
H27	30	6
H28	4	5
H29	5	4
H30	6	5

同志社大学 理工学研究科 社会人学生数（人）

	博士課程前期	博士課程後期
H26	0	16
H27	0	19
H28	0	18
H29	0	14
H30	0	11

今回設置を計画している工学研究科は、京都市内の地下鉄駅から徒歩 3 分の交通至便な場所に立地し、企業等に勤務しながら通学する社会人学生にとって、他大学の同分野の研究科と比較して競争力を発揮できるものであり、学生確保が順調に進むものと判断している。

社会人学生の学生確保については、他大学の学部卒業生、外国人留学生と並んで学生募集の対象である。本学が第 3 者機関である株式会社アンド・ディに委託して実施した社会人に対する本学大学院工学研究科への入学意向を調査するアンケートによって、本学が開設を予定している工学研究科機械電気システム工学専攻（博士課程前期・博士課程後期）

には、入学定員（博士課程前期 15 人、博士課程後期 2 人）を超える入学希望者があり、十分な入学者が確保できる見通しである。

また、本学の工学研究科の場合、海外に進出した日系企業に就職し、日本に留学して日本の高等教育を受けることを渴望する海外の技術者の受け入れも想定しており、実際に国外に事業所を有する企業の中堅技術者が入学の意思を表明しており、この点でも入学者を確保できる見通しである。

1-1-4 外国人留学生の学生確保の見通し

1-1-4-1 学校基本調査

過去 5 年間の学校基本調査の大学院入学状況（専攻分野別、出身大学の設置者別）によれば、「外国の学校卒」の入学志願者が修士課程では入学志願者全体の約 4%、博士課程では入学志願者全体の約 14%を占めており、外国人留学生が一定の割合を占めている。

学院工学分野修士課程の入学出身者の構成（国公私計）（入学志願者）

		計		当該 大学		他大学		外国の 学校卒		その他
H26	(100.0)	42,091	(81.5)	34,338	(12.4)	5,261	(4.1)	1,758	(1.7)	734
H27	(100.0)	41,218	(81.0)	33,411	(12.6)	5,232	(4.4)	1,845	(1.7)	730
H28	(100.0)	40,087	(82.7)	33,184	(10.5)	4,245	(4.9)	1,995	(1.6)	663
H29	(100.0)	40,611	(81.8)	33,259	(10.6)	4,309	(5.8)	2,370	(1.6)	673
H30	(100.0)	40,901	(80.8)	33,051	(9.8)	4,047	(7.6)	3,146	(1.6)	657

出典：文部科学省「学校基本調査報告書」

大学院工学分野博士課程の入学出身者の構成（(国公私計)）（入学志願者）

		計		当該 大学		他大学		外国の 学校卒		その他
H26	(100.0)	2,985	(64.5)	1,927	(17.5)	524	(14.3)	428	(3.5)	106
H27	(100.0)	3,032	(61.4)	1,862	(18.4)	558	(17.4)	529	(2.7)	83
H28	(100.0)	2,834	(61.9)	1,757	(19.3)	549	(16.0)	454	(2.6)	74
H29	(100.0)	2,669	(59.4)	1,588	(19.4)	520	(17.8)	476	(3.1)	85
H30	(100.0)	2,867	(61.2)	1,755	(18.6)	536	(17.0)	489	(3.0)	87

出典：文部科学省「学校基本調査報告書」

1-1-4-2 海外での説明会の状況

外国人留学生について言えば、良質な留学生の確保に向けて、国際的に認められた留学エージェントと提携して、既に海外での広報展開を進めており、海外の留学フェアで本学工学

部・工学研究科に興味を抱き、本学のブースに立ち寄り、本学の説明を聞きに来た学生の数は2019年2月から2019年5月までの4か月間だけでも約470名（スリランカ150名、タイ10名、ブラジル200名、フィリピン110名）に上っており、実際に多数の入学希望の留学生が存在している。

海外での説明会の状況

訪問年月	訪問国	訪問都市	フェア名 あるいは学校名	学生・生徒直接説明 あるいはパンフ配布数
2019年2月	スリランカ	コロンボ	EDEX2019	学生150名
2019年3月	タイ	バンコク	BMI Agent Workshop	エージェント：20社 学校訪問(インター)：3校 学生：10名
2019年3月	ブラジル	サンパウロ	BMI Agent Workshop BMI Intl School Forum BMI Expopo's	エージェント：20社 カウンセラー：9校 学生：200名
2019年5月	フィリピン	セブ マニラ	Cebu International School Singapore school Cebu Bright Academy British School Manila AUG, study International	エージェント：2社 カウンセラー：2校 学生110名
2019年5月	台湾	台北	Lincoln Consultants Franklin International Education Oh! Study	エージェント：3名 学生：なし

1-1-5 学生確保の見通し（まとめ）

以上の通り、他大学理工系学部・研究科、高等専門学校在籍者に対するwebアンケート結果が示す通り新卒者等からの十分な志願者があった。社会人に関しても本学が第3者機関に委託して実施した入学意向調査の結果が示す通り、十分な入学希望者が存在している。外国人留学生に関しても海外での説明会で多数の学生が関心を示している。

本学の工学部が完成年度を経て卒業生を輩出するようになりはじめれば、本学工学部から工学研究科博士課程前期に内部進学する者が現れる。

学校基本調査のデータによれば、大学の卒業生数（関係学科別状況別）に対する工学分

野の学士課程修了者の進学率は約 36%である。仮に、この進学率を本学の工学部に当てはめれば、入学者定員の 200 人がそのまま卒業した場合、72 人の進学者が現れ、そのうちの多くの者が本学工学研究科博士課程前期に内部進学することが見込める。

工学分野の学部卒業生数と進学者数

年度	卒業生数	卒業生のうち進学者数	進学者割合
H26	86,684 人	31,375 人	(36.2)
H27	85,976 人	31,176 人	(36.3)
H28	85,958 人	31,273 人	(36.4)
H29	87,542 人	32,051 人	(36.6)
H30	87,835 人	31,878 人	(36.3)

出典：文部科学省「学校基本調査報告書 関係学科別 状況別 卒業生数」

これらのことから本学の設置を目指す工学研究科機械電気システム工学専攻（博士課程前期、博士課程後期）には中長期的な学生確保の見通しがあるといえることができる。

1-1-6 学生納付金の設定と考え方

学生納付金の設定にあたっては、本学が私学であることから、完成年度での収支の均衡を基本として、競合すると考えられる近隣の私立大学大学院工学研究科の平成 30 年度の学生納付金（資料 5）を参考に、博士課程前期の入学初年度の学生納付金を 1,200,000 円（入学金 200,000 円（初年度のみ）、授業料 650,000 円、施設設備費 150,000 円、実験実習費 200,000 円）と設定した。博士課程後期の入学初年度の学生納付金を 1,200,000 円（入学金 200,000 円（初年度のみ）、授業料 650,000 円、施設設備費 150,000 円、実験実習費 200,000 円）と設定した。

博士課程前期と博士課程後期の入学初年度の学生納付金 1,200,000 円は近隣の他の私立大学大学院工学研究科の学生納付金に比べると同程度の金額となっており、本学が設置する工学研究科の学生募集に支障をきたすものではないと判断する。

1-2 学生確保に向けた具体的な取組状況

平成 30 年 11 月よりアンケート調査実施時に工学研究科の内容も収録した工学部・工学研究科のリーフレットを作成し配布した。また、英文の大学院リーフレットを作成して海外の学生に配布している。さらに、工学研究科の設置認可申請後は「設置申請中」と明記した工学部の案内にも工学研究科の内容を盛り込んで、広報媒体として活用していく。また、大学院案内にも工学研究科のページを設け学生募集に活用していく予定である。

大学の Web サイトに工学研究科のコンテンツを掲載し、理解促進を図る予定であり、マ

ス広告として新聞広告等も活用していく予定である。

工学研究科は海外からの留学生も積極的に受け入れる計画である。良質な留学生の確保に向けての施策として、信頼性の高い留学エージェントの活用を検討しており、国際的に認められた団体に属している留学エージェントとの間で海外における PR 活動を進めている。各留学エージェントが平成 32 年 9 月に工学研究科の留学生として日本に送り出すことが可能と想定している留学生の数が報告されてきており（資料 6）、そこから判断して十分な数の留学生が確保できるものと判断している。

2 人材需要の動向等社会の要請

2-1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

2-1-1 教育研究上の目的

機械分野と電気分野に跨る学際的な工学分野の専門的知識・学術・教養を兼ね備え、グローバル社会への関心と、次世代の電気機械システムに必須の専門領域の高度な知識を修得し、さらに深化させることによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる技術者・研究者を育成する。

2-1-2 養成する人材

<工学研究科 博士課程前期 機械電気システム工学専攻>

機械分野と電気分野に跨る学際的な工学分野の専門的知識・学術ならびに幅広い教養を兼ね備え、グローバル社会への関心と幅広い教養を身に付けて、未来を展望できる人材の養成を目的とする。

<工学研究科 博士課程後期 機械電気システム工学専攻>

機械分野と電気分野に跨る学際的な工学分野の専門的知識・学術ならびに幅広い教養を兼ね備え、グローバル化社会で活躍できる人材の養成を目的とする。

専門領域の高度な知識に加え、多様な学問分野の動向と社会ニーズを踏まえた社会的ニーズの高い問題発見能力を有し、新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる研究者を養成する。

2-2 上記 2-1 が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的根拠

本学大学院工学研究科で学んだ学生の新卒採用での採用意向を、本学卒業生の採用実績企業（214 社）と近畿 2 府 3 県（京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県）に所在する機

械製造業の企業（786社）の合計1,000社の人事採用担当者に対してアンケート調査（資料7）を実施した。以下にその概要と結果を述べる。

<調査概要>

- ・実施期間：平成30年10月22日～平成30年11月26日
- ・調査対象：本学卒業生の採用実績がある企業214社、京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、兵庫県に所在する機械製造業の企業786社、合計1,000社の人事採用担当者
- ・調査方法：一般企業・各種団体への郵送調査
- ・回答方法：調査票に添付したリーフレット（資料4）を読み、回答
- ・回答企業：215社
- ・調査機関：株式会社アンド・ディ（東京都港区）

当該アンケート調査において「設置構想中の『工学研究科機械電気システム工学専攻』で学んだ学生の新卒採用についてどのようにお考えですか」という設問に対して、「採用対象になる」と回答した企業は133社、「おそらく採用対象になる」と回答した企業は23社であり、この両者の合計156社（回答企業全体の73%）が本学大学院工学研究科の修了生を採用対象として見なしていることが分かった。（資料7の10ページ参照）

加えて、アンケート調査では各企業に本学工学研究科修了生の採用人数の記入を求め、採用予定人数を総計したところ、博士課程前期の総採用予定人数は270人、博士課程後期の総採用予定人数は169人となり、前期、後期いずれの課程においても入学定員を上回っている。

以上により、京都先端科学大学大学院工学研究科 機械電気システム工学専攻（博士課程前期・博士課程後期）の修了生に対する企業からの人材ニーズは高く、就職先についても十分に確保されていることが明確になるとともに、上記2-1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることが示された。

学生確保の見通しに関する資料 資料編 目次

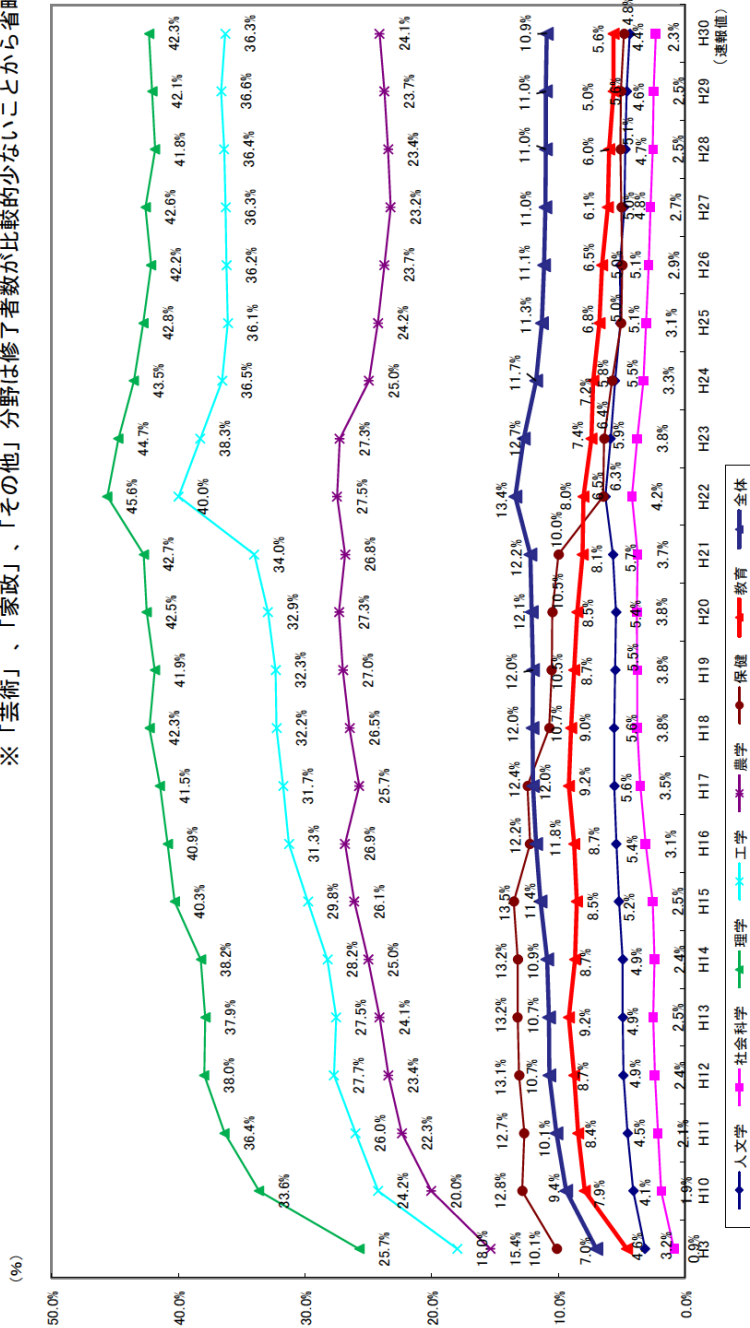
- 資料1 学士課程修了者の進学率の推移
- 資料2 京都先端科学大学大学院 工学研究科【個人（入学意向）】調査結果報告書
- 資料3 京都先端科学大学大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻への
入学に関するアンケート調査票
- 資料4 工学部・工学研究科 リーフレット
- 資料5 近隣の私立大学大学院 工学研究科の初年度の学費
- 資料6 留学エージェント一覧
- 資料7 京都先端科学大学工学部&工学研究科設置受容性調査【企業（採用意向）】
調査結果報告書
- 資料8 京都先端科学大学大学院工学研究科 機械電気システム工学専攻への
入学に関するアンケート調査結果

学士課程修了者の進学率の推移（分野別）

■ 学士課程修了者の進学率の推移（分野別）

● 学士課程修了者の進学率は、全体的に横ばい傾向にある。

※ 「芸術」、「家政」、「その他」分野は修了者数が比較的少ないことから省略





京都先端科学大学大学院 工学研究科 【個人（入学意向）】

調査結果報告書

2018年12月



目次

- 目次	2
- 調査概要	3
✓ 社会人の学び直しの必要性	5
- 学び直しの必要性	6
- 学び直しの必要性の理由	7
✓ 大学院 工学研究科への入学意向／魅力ある特徴	9
- 京都先端科学大学大学院 工学研究科への入学意向【前期】	10
- 京都先端科学大学大学院 工学研究科への入学意向【後期】	11
- 京都先端科学大学大学院 工学研究科への入学意向の理由	12
- 京都先端科学大学大学院 工学研究科の魅力的な特徴	13
- 京都先端科学大学大学院 工学研究科の他にはない特徴	14
✓ 回答企業プロフィール	15
- 性別／年齢	16
- お住まい／入社歴	17
- 最終学歴／職種	18
- 役職／社会人になってからの学習経験	19
- ご意見・ご要望	20
✓ 調査票・資料	21
- 調査票	22
- 紹介リーフレット	24



調査概要

✓ 調査目的

- 「京都先端科学大学工学部・工学研究科採用意向調査」において社員の学びなおし制度についての質問に回答いただいた企業の社員の方に工学研究科への入学意向を聴取し、受容性を確認する。

✓ 調査対象

- 「京都先端科学大学 工学部・工学研究科採用意向」調査にご協力いただいた企業・団体（112社）の社員の方（750名）

✓ 調査方法

- 郵送配布・回収によるアンケート調査

※ 各企業の人事採用担当者、複数部のアンケートをまとめて送付。調査にご協力いただけそうな他の社員の方々に適宜配布をしていただいた。

✓ 配布・回収状況

- 回収数 : 149人 (回収率 19.8%)
- 有効回答数 : 149人 (有効回答率 19.8%)

✓ 調査期間

- 2018年11月16日（金）～2018年12月12日（水）

✓ 集計・分析

- 株式会社アンド・ディ

No.	回答企業	回答人数	No.	回答企業	回答人数
1	JONAN株式会社	1	27	株式会社山岡製作所	1
2	芦森工業株式会社	3	28	カンケンテクノ株式会社	1
3	アテック京都株式会社	4	29	京都電機株式会社	4
4	エスベック株式会社	4	30	クマリフト株式会社	1
5	尾道造船株式会社	9	31	クワイ電機株式会社	4
6	オムロンエキスパートリンク株式会社	2	32	光洋機械工業株式会社	5
7	株式会社 京写	5	33	光洋サーモシステム株式会社	7
8	株式会社 モリタ製作所	3	34	神港精機株式会社	1
9	株式会社 G S ユアザ	1	35	須河車体株式会社	5
10	株式会社 OKAMURA	5	36	セイコー化工機株式会社	1
11	株式会社 アテラス	5	37	星和電機株式会社	8
12	株式会社 エクセディ	2	38	第一精工株式会社	5
13	株式会社 片岡製作所	4	39	竹中エンジニアリング株式会社	2
14	株式会社 工進	3	40	トクニ技研工業株式会社	4
15	株式会社 サンテック	2	41	ナルックス株式会社	1
16	株式会社 瑞光	5	42	日新電機株式会社	1
17	株式会社 萬永製作所	1	43	日本電産株式会社	4
18	株式会社 西島製作所	1	44	日本電産サンキョー	2
19	株式会社 ナベル	6	45	日本電産サンキョー株式会社	3
20	株式会社 なんつゆ	1	46	日本電産シンボ株式会社	4
21	株式会社 ニテダイ	1	47	日本電産リード株式会社	5
22	株式会社 初田製作所	8	48	菱神テクノカ株式会社	2
23	株式会社 阪村機械製作所	1	49	扶桑薬品工業株式会社	2
24	株式会社 フジキン	1	50	プライミクス株式会社	1
25	株式会社 エグ・スーパーテクノ	1	51	ホンカワミクロン株式会社	1
26	株式会社 松本製作所	1	52	宮脇銅管株式会社	2
			53	無回答	3

「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査





社会人の学び直しの必要性

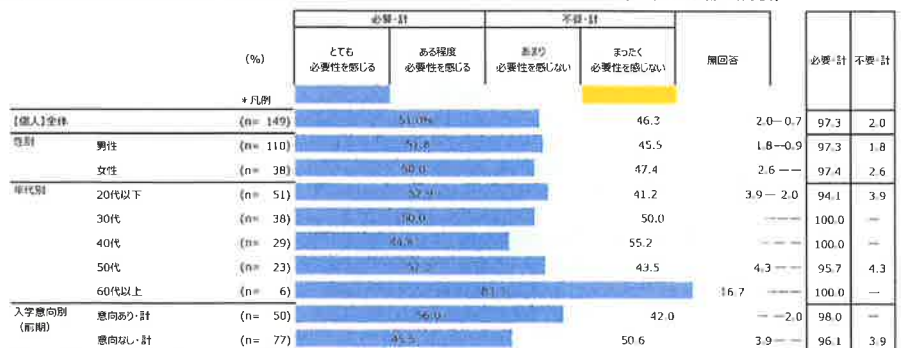


2. 学び直しの必要性

- ✓ **【全体】社会人の学び直しについて、必要と回答したのは9割強**（とても必要性を感じる+ある程度必要性を感じる）
 - トップボックスの「とても必要性を感じる」が5割を超える。
- ✓ **【年代】いずれの年代も、ほぼ全員が学び直しは必要と回答**
 - 40代までは年代が上がるにつれて「とても必要性を感じる」の割合が徐々に低下するが、50代で再び5割を超える。
- ✓ **【入学意向別】入学意向に関わらず、ほぼ全員が学び直しは必要と回答**
 - 特に『意向あり・計』ではトップボックス「とても必要性を感じる」（56%）と高い（意向なし・計と比較して+10pt）。

■社会人の学び直しについて（全体/単一回答）

P9. 今後、社会人として何かを「学ぶ（学び直しをする）」ということについて、どのようにお考えになりますか。あなたのお気持ちに近いものをお選びください。※学ぶ内容・テーマ、方法は問いません。



P9

2. 学び直しの必要性の理由抜粋 (学び直しは「とても必要/ある程度必要」と回答した人)

F1. 性別	F2. 年齢	F3. 居住地	F4. 入社歴(年)	F5. 最終学歴	F6. 職種	F7. 役職	F9SF. 学び直しの必要性の理由
<新たな分野や産業への挑戦・習得のため>							
女性	27	その他	5	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	新しい事を学ぶことによって、自身の視野を広げたり、考え方が変わると思うから
男性	26	京都	4	大学卒	電気、電子、機械系技術・研究	役職にはついていない	新たな分野等、仕事の内での知識不足を感じるため
男性	52	京都	3	高校卒	電気、電子、機械系技術・研究	係長・主任クラス	新しい技術に関する知識を習得する必要性を感じるため
男性	44	京都	22	大学卒	電気、電子、機械系技術・研究	課長クラス	企業も含めて世の中常に変化し続けるため、対応、応用、先進、 どれを取っても学んでおくことが必要。学ぶことなしには前に進んでいけない
男性	45	京都	20	大学院(修)	電気、電子、機械系技術・研究	課長クラスの管理職	技術は日々更新されていくので、定期的に知識を更新し、最新の知識を身につけておかないといけない
男性	57	その他	34	大学卒	設計・生産技術	課長クラス	新しい製品に搭載されるに当たり、新しい技術が採用されており、その技術について学習、習得が必要である
<自己啓発・自己研鑽・視野を広げるため>							
男性	49	兵庫	11	大学院(修)	財務・経理関連職	部長クラスの管理職	生きること学ぶこと 技術と進歩に応じた知識習得と自己研鑽のため
男性	42	奈良	8	大学院(修)	電気、電子、機械系技術・研究	課長クラスの管理職	今まで疎かにしていたパソコンの使い方などを学べばもっと今できるだろうと後悔しているから
女性	24	その他	1	大学卒	営業職	役職にはついていない	学ぶ事で自身の成長に繋がり、仕事に生かすことができるため
男性	25	京都	3	大学卒	財務・経理関連職	役職にはついていない	学ぶ事によって真理を追究でき、自ら豊かにできるから
男性	45	京都	22	大学卒	電気、電子、機械系技術・研究	課長クラスの管理職	学ぶことは永遠に絶えることはないと思うから
男性	50	兵庫	5	高校卒	総務・法務・人事・広報関連職	課長クラスの管理職	
<学生時代の知識を忘れている・意識が変化したため>							
男性	25	京都	2	大学卒	設計・生産技術	役職にはついていない	学生の頃に学んだ事を忘れていることが多く、忘れていた内容が業務に関係しているため、 学び直す機会があるなら学び直したい
男性	26	大阪	5	大学卒	電気、電子、機械系技術・研究	役職にはついていない	大学で仕事で使える知識を学んでいなかったため、幅広く知識が必要であるため
男性	56	奈良	33	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	部長クラスの管理職	大学で勉強したことは社会(実学)では足りないことが多いから
男性	36	奈良	14	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	係長・主任クラス	大学で学んだ内容がそのまま社会で活かせる訳ではないため(大学での専攻と違う分野を仕事としているため)
男性	59	大阪	2	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	部長クラスの管理職	学生のときよりも、社会に出てからのほうが、新しい考え方や技術について学ぶ(FIT-FIT)は高くなると思う
<今の業務で学習の必要性を感じるため>							
女性	30	大阪	2	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	業務上で知識を必要とすることが多いため
男性	29	大阪	6	大学院(修)	設計・生産技術	役職にはついていない	業務で必要な知識に関して「学んだ」記憶はあるが、内容そのものを忘れていていることが多いから
女性	27	大阪	3	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	業務の中でより専門性を高める為に学びが必要であると考え、最新の情報を常に取り入れ、更新していくため
男性	35	奈良	13	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	係長・主任クラス	業務に直接関係なくても学ぶ事で得ることは多く、業務にも結びつくこともある
男性	26	京都	2	大学院(修)	その他	役職にはついていない	業務を行う上で分からないことは調べたり学ぶ事が必要な為
女性	31	大阪	9	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	業務を遂行するために知識を付ける必要があると思うから
男性	22	京都	1	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	仕事の中で必要な知識はたくさんあると感じているから
女性	33	その他	10	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	その他役職	仕事を始めてから使う知識やもっと学んでおけば良かったと思うことがある
女性	27	大阪	1	短大卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	社会人になって様々な事を知る必要があると感じる場面が多いため
男性	46	その他	14	大学卒	設計・生産技術	課長クラスの管理職	社会人になり、自分に本当に必要な物が分かったところで再度学び直すことが有効と感じているため
女性	51	大阪	10	高校卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	社会に出てからのほうが学ぶ事が多いです。もっと深く知りたい気持ちが強くなりました

「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査



工学研究科機械電気システム工学専攻への入学意向と魅力ある特徴／他にはない特徴

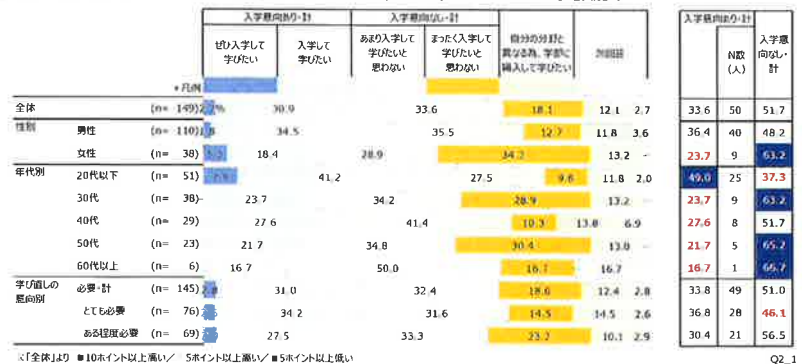


3. 京都先端科学大学大学院 工学研究科への入学意向（前期）

- ✓ 【全体】工学研究科 機械電気システム工学専攻(前期)の入学希望者は50人（回答者全体の34%）（ぜひ入学して学びたい4人+入学して学びたい46人）
- ✓ 【性別】男性の方が入学意向が高い（36%、女性と比較して+13pt）
- ✓ 【年代別】年代が高くなるほど、入学意向は低い
 - 年代別では『20代以下』の入学意向が49%で、他の年代と比較して突出して高い。

■大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻（前期）の入学意向（全体/単一回答）

Q2 設備構想中の大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻で学ぶことについてどのようにお考えですか、あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。





3. 京都先端科学大学大学院 工学研究科への入学意向（後期）

- ✓ **【全体】工学研究科 機械電気システム工学専攻(後期)の入学希望者は16人（回答者全体の11%）**（ぜひ入学して学びたい1人+入学して学びたい15人）
- ✓ **【性別】男性の方が入学意向が高い（14%、女性の入学意向はみられない）**
- ✓ **【年代別】50代以外ではいずれも15%前後の入学意向**
 - 年代別では『60代以上』の入学意向が17%で、他の年代と比較して高い。

■大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻(後期)の入学意向（全員/単一回答）

Q2. 設置調整中の大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻(後期)についてどのようにお考えですか。あなたの所属する企業に近いものをお選びください。

	n	入学意向別			割合	入学意向別	割合
		ぜひ入学して学びたい	入学して学びたい	あまり入学して学びたいとは思わない			
全体	149	10.1	20.1	9.0	63.1	10.7	16
性別							
男性	110	12.7	22.7	2.6	60.0	13.6	15
女性	38	13.2	13.2	-	73.7	-	0
年代別							
20代以下	51	9.8	19.6	7.9	64.7	11.8	6
30代	38	10.5	18.4	10.5	60.5	10.5	4
40代	29	13.8	20.7	6.9	58.6	13.8	4
50代	23	26.1	4.3	-	69.6	-	0
60代以上	6	16.7	16.7	-	66.7	16.7	1
学び直しの必要性							
必要-1	145	10.3	20.9	6.2	62.8	11.0	16
ととも必要	76	13.2	22.4	7.9	59.2	14.5	11
あつて必要	69	7.2	17.4	0.7	66.7	7.2	5

※「全体」より ※10ポイント以上高い ※5ポイント以上高い ※5ポイント以上低い

「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査



3. 京都先端科学大学大学院 工学研究科への入学意向の理由抜粋

（当該大学院に「ぜひ入学して学びたい/入学して学びたい/学部に入塾して学びたい」と回答した人）

F1. 性別	F2. 年齢	F3. 居住地	F4. 入社歴(年)	F5. 最終学歴	F6. 職種	F7. 役職	F9. 学び直し	Q2-1SQ1. [前期]入学意向理由
<新しい技術を学びたいため>								
男性	37	大阪	16	大学卒	その他事務系職	係長・主任クラス	とても必要	新しい技術動向について学んでみたい
男性	50	京都	28	大学卒	財務・経理関連職	係長・主任クラス	とても必要	新しい知識の習得はその後の人生に影響する
男性	35	奈良	13	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	係長・主任クラス	とても必要	今後必ず中心となる技術であり、その知識を得られるのは有益
<今の仕事に必要・活かせるため>								
女性	27	大阪	1	短大卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	とても必要	今まで工業系のことは学んでこなかったが、現職で必要性を感じるため
男性	26	京都	1	大学院(修)	ITエンジニア	役職にはついていない	とても必要	研究内容が今後の仕事に活かそうだから
男性	29	京都	1	大学卒	電気、電子、機械系技術・研究	役職にはついていない	ある程度必要	現業務に役立つなら学びたい
男性	53	兵庫	8	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	課長クラス	とても必要	現在の仕事に於いても有効であると思われるため
<役に立ちそう・視野が広がりそうだから>								
男性	29	大阪	6	大学院(修)	設計・生産技術	役職にはついていない	ある程度必要	自分の知識、視野が広がると感じたから（モチ関係に興味があるから）
女性	25	京都	2	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	とても必要	社会（会社）で役立ちそう
無回答	無回答	京都	20	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	係長・主任クラス	ある程度必要	社会人になり、何らかの新しい知識を得たいと思う様になった
男性	無回答	京都	無回答	8	総務・法務・人事・広報関連職	課長クラスの管理職	ある程度必要	社会に出て役立つ（より実践に近い）内容を学ぶ事ができると期待しているため
男性	24	京都	1	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	ある程度必要	これからの時代で必要とされそうなことを学べそうだから
男性	25	京都	3	大学卒	財務・経理関連職	役職にはついていない	とても必要	これから先、ロボット産業は益々栄えていく。これに関する知識を身につけるのは役立つと考えている
男性	46	その他	14	大学卒	設計・生産技術	課長クラスの管理職	ある程度必要	先端の技術に触れることで今まで発想できなかった事や更に深掘りした知識の取得をして次の世代の開発を夢見たい
女性	28	京都	3	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	ある程度必要	やはり作り手が今の就職状況においても強いと思うから。中でも機械系は別格だと思う
<(文系なので)理系を学んでみたい>								
男性	23	大阪	1	大学卒	財務・経理関連職	役職にはついていない	ある程度必要	文系出身であるため、まずは学部で基礎的な部分から学んでいきたいと考えるため
男性	32	奈良	9	大学卒	その他事務系職	役職にはついていない	とても必要	文系大学出身のため
男性	26	京都	4	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	ある程度必要	文系でも可能ならば
男性	26	京都	2	大学卒	設計・生産技術	役職にはついていない	ある程度必要	自分が勉強してきた分野と異なるため。時間に余裕があれば学びたい
男性	25	京都	1	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	とても必要	自分が今まで関わったことがない分野で知識が全くないが、面白そうだと感じた為
女性	27	大阪	3	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	ある程度必要	現職が機械メーカーでありながら、私は文系出身なので学べる機会があるのであれば入学してみたいと思います

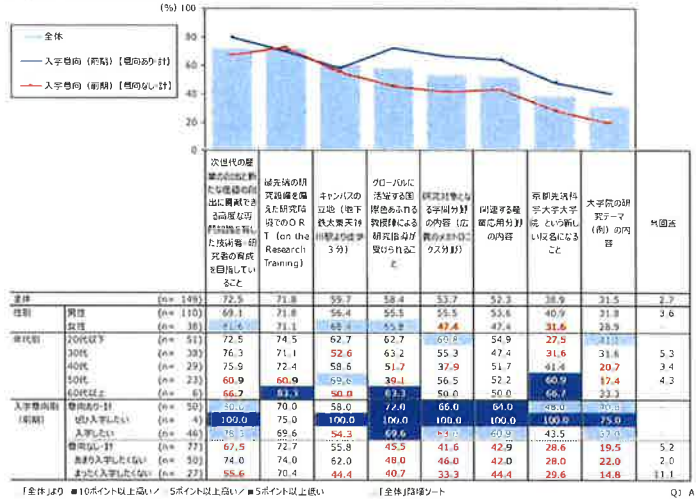
「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査

4. 京都先端科学大学大学院 工学研究科の魅力的特徴

- ✓ **【全体】工学研究科機械電気システム工学専攻の魅力は「次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者の育成を目指している」(73%)が最も高い**
 - 次いで「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」(72%)、「キャンパスの立地」(60%)。
- ✓ **【入学意向別】意向あり・計においても「次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者の育成を目指している」(80%)が最も高い**
 - 全体と比較して2位以下が異なり、「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣」(72%)、「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」(70%)と続く。
 - 『意向なし・計』を大きく上回るのは「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣」(+27pt)、「研究対象となる学問分野の内容」(+24pt)、「関連する産業応用分野の内容」(+21pt)。

■京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻の魅力 (全体/複数回答)

Q1) 京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻について (A) 魅力を感じるところについて、番号10をつけてください。



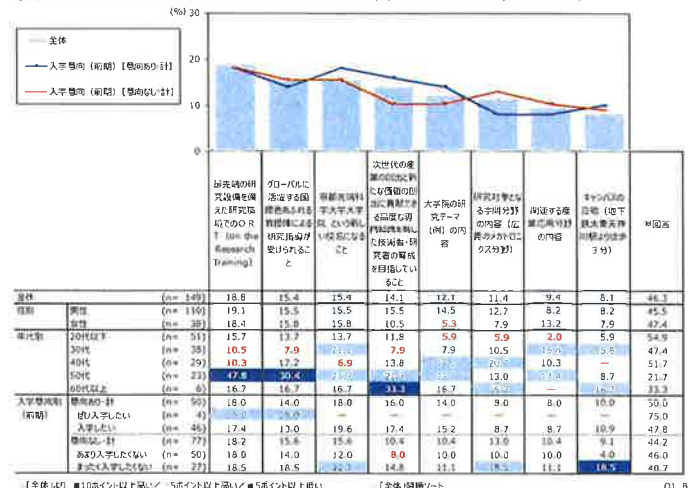
「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査

5. 京都先端科学大学大学院 工学研究科の他にはない特徴

- ✓ **【全体】工学研究科機械電気システム工学専攻の他にはない特徴は「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」(19%)が最も高い**
 - 次いで「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣」「京都先端科学大学大学院という新しい校名」(15%)、「次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者の育成を目指している」(14%)。
- ✓ **【入学意向別】意向あり・計では「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」「京都先端科学大学大学院という新しい校名」(19%)が並ぶ**
 - 次いで「次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者の育成を目指している」(16%)。上位の顔ぶれは全体スコアとほぼ同様だが、2位以下の順位が異なる。
 - また『意向なし・計』を上回るのは「次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者の育成を目指している」(+6pt)、「大学院の研究テーマの内容」(+4pt)。

■京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻の他にはない特徴 (全体/複数回答)

Q1) 京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻について (B) 他にはない特徴を感じる項目について、番号10をつけてください。



「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査



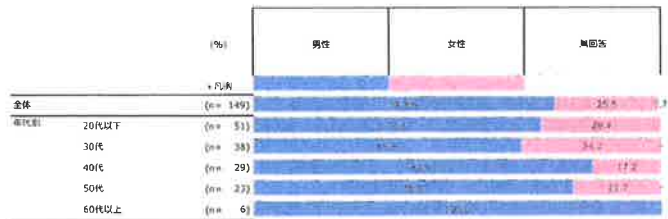
回答者のプロフィール



1. 回答者プロフィール 性別/年齢

✓ 性別は「男性」が7割強

■性別 (全体/単一回答)

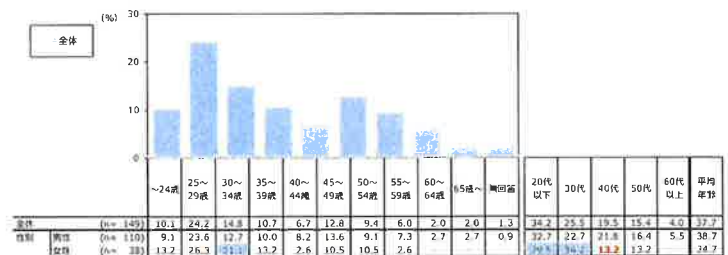


F1

✓ 平均年齢は「37.7歳」

- 「20代以下」(34%)が最も多く、次いで「30代」(26%)、「40代」(20%)。
- 性別で見ると、女性の方が平均年齢が低く「34.7歳」(男性と比較して-4歳)。
 - 特に女性は「20代以下」「30代」の割合が多い。

■年齢 (全体/複数回答)

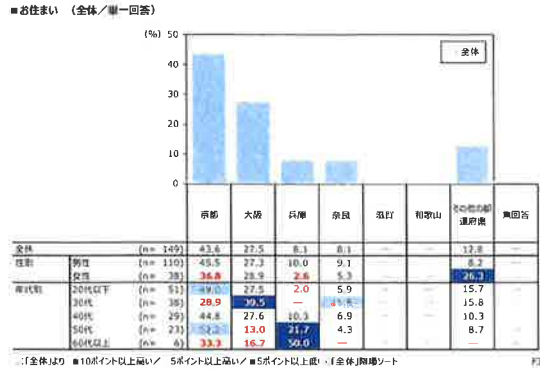


F2

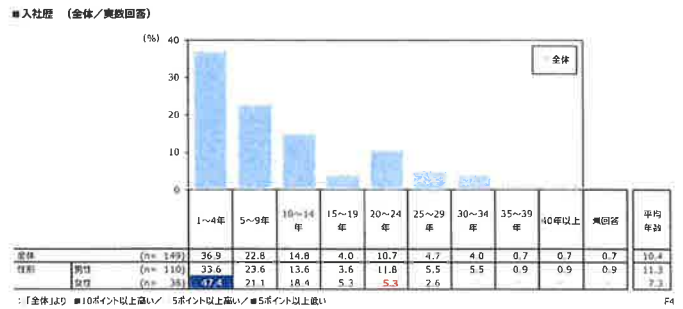


1. 回答者プロフィール お住まい/入社歴

- ✓ 居住地は「京都」（44%）が最も多い
 - 次いで「大阪」（28%）、「その他の都道府県」（13%）



- ✓ 入社歴は平均「10.4年」
 - 性別で見ると、女性の方が平均入社歴が短く「7.3年」（男性と比べて-4.0年）。

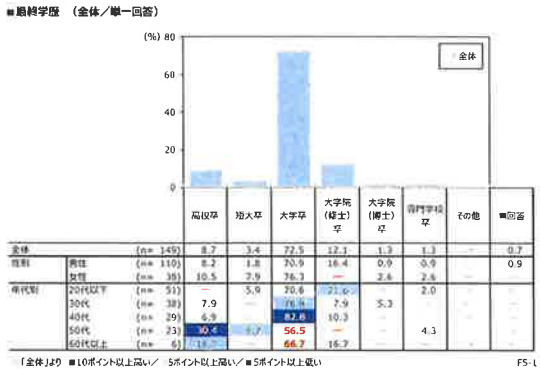


「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査



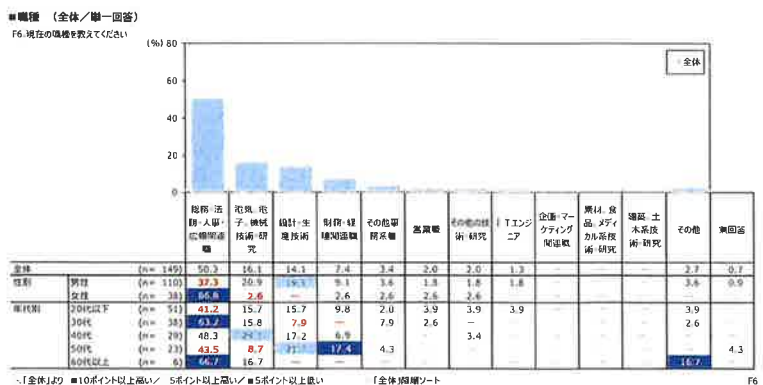
1. 回答者プロフィール 最終学歴/職種

- ✓ 最終学歴は「大学卒」（73%）が最も多い
 - 次いで「大学院(修士)」（12%）、「高校卒」（9%）。
 - 年代別では、いずれの年代も「大学卒」が最も高い。
 - 『20代以下』は「大学院(修士)卒」、『30・40代』は「大学卒」、『50代以上』は「高卒」のスコアが相対的に高い。



- ✓ 職種は「総務・法務・人事・広報関連職」（50%）が最も多い

- 次いで「電気・電子・機械技術・研究」（16%）、「設計・生産技術」（14%）。
- 性別で見ると、男性は「設計・生産技術」（19%）、女性は「総務・法務・人事・広報関連職」（87%）が相対的に高い。
 - 特に女性は9割近くが「総務・法務・人事・広報関連職」。



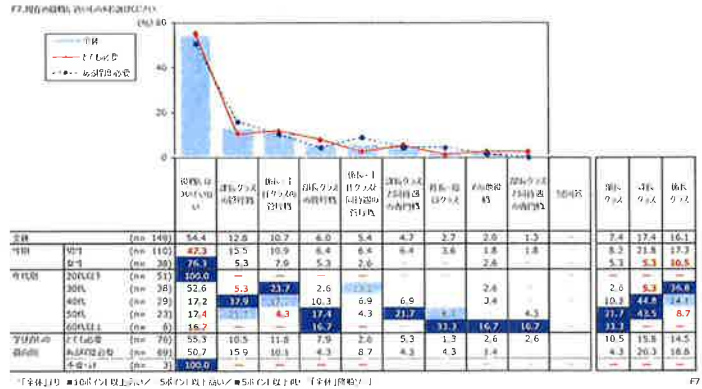
「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査

1. 回答者プロフィール 役職/社会人になってからの学習経験

✓ 現在は「役職にはついていない」が5割強

- 「役職にはついていない」(54%)が最も高く、次いで「課長クラスの管理職」(13%)、「係長・主任クラスの管理職」(11%)。
- 性別で見ると、女性の「役職についていない」(76%)が突出して高い。

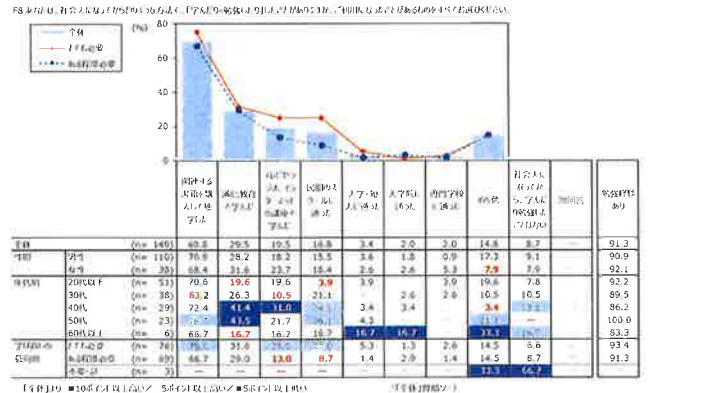
■役職 (全体/単一回答)



✓ 社会人になってからの学習は9割が経験あり

- 「関連書籍を購入して独学した」(70%)が最も高く、次いで「通信教育で学んだ」(30%)、「テレビやラジオ、インターネットの講座で学んだ」(20%)。
- 年代別に見ると、いずれの年代も学習経験は8割を超える。
 - 特に『20代以下』(92%)、『50代』(100%)の学習経験が相対的に高い。
 - 『50代』は「関連書籍」「通信教育」「民間のスクール」、『60代以上』は「大学・短大通った」「大学院に通った」が相対的に高い。

■社会人になってからの学習経験 (全体/複数回答)



「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査

ご意見・ご要望抜粋

F1. 性別	F2. 年齢	F3. 居住地	F4. 入社歴(年)	F5. 最終学歴	F6. 職種	F7. 役職	Q3. ご意見・ご要望
<新たな貴学に期待>							
女性	50	京都	20	短大卒	総務・法務・人事・広報関連職	部長クラスの管理職	魅力的な大学になる様期待しています。京都の各ものづくりメーカーとの協業が進めばいいと思います
男性	45	大阪	14	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	課長クラスの管理職	大きな改変で非常に興味を持っています。今後優秀な人材と出たいと思いい期待しているところですが
男性	38	奈良	15	大学卒	その他事務系職	係長・主任クラス	近畿圏で久しぶりの大規模な電気系学部の誕生となる為、期待をしている
男性	44	京都	22	大学卒	電気、電子、機械系技術・研究	課長クラス	各分野の応用技術を早いうちに学んでおくことは、その後の活動に於いて大きく役立つものと思います
男性	26	奈良	4	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	関西圏における新たな工学系学部がある大学として期待しています
<交流・情報交換などに期待>							
男性	28	京都	4	大学院(修)	設計・生産技術	役職にはついていない	企業とコラボして研究を進められる環境ができることはとても良いと感じた。
男性	31	その他	1	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	社会人としても貴重な経験となるのでかなり役立つと感じた
女性	48	京都	26	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	課長クラスの管理職	企業と連携した講義があるとより興味が湧きます
男性	63	兵庫	7	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	部長・役員クラス	地元企業として多くのエンジニア志望者が入社して下さることを期待しています。
女性	33	その他	10	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	その他役職	企業として支援できることがあればアウンスお願します
<優秀な人材の輩出に期待>							
男性	50	兵庫	13	大学卒	設計・生産技術	課長クラス	設計分野でも技術力と同じくらいコミュニケーションが必要になってきています。
女性	25	京都	2	大学卒	その他の技術・研究	役職にはついていない	相手の意見を聞く力、当方の意見を伝える力が欠けている人を時々見かけます。
男性	44	京都	9	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	その他役職	人間形成にも力を掛けて頂きたい
男性	25	京都	3	大学卒	電気、電子、機械系技術・研究	役職にはついていない	高度専門技術者の育成を期待しております
女性	27	大阪	1	短大卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	採用担当として優秀な学生、アカデミックではなく社会に貢献できる学生が多く生まれることに非常に期待しております
<産業発展の貢献に期待>							
男性	24	京都	2	大学卒	財務・経理関連職	役職にはついていない	実践的な演習をされる場合には有料ソフトだけでなくフリーソフトを用いた解析や演習等も取り入れて貰いたい。
男性	33	京都	11	大学卒	営業職	係長・主任クラス	フリーソフトであれば就職先でソフトウェア導入にかかるコストを気にせず、即使用できるようになる為業務活動に繋がります
男性	71	兵庫	12	大学卒	電気、電子、機械系技術・研究	役職にはついていない	主に機械・電気系の学生様を対象に採用活動を行っております。是非興味を持って頂けますと幸いです
男性	67	兵庫	6	高校卒	総務・法務・人事・広報関連職	その他役職	日本の未来を背負っていく人々を育成する場として力を尽くして頂ければと思います
男性	26	京都	2	大学卒	設計・生産技術	役職にはついていない	日本のものづくりに対して世界をリードできるように人材育成をして頂き
女性	27	大阪	3	大学卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	日本の製造業を活性化するために頂きたい
女性	53	京都	13	高校卒	総務・法務・人事・広報関連職	役職にはついていない	日本は技術立国として海外から評されているが、後進国の追従も厳しく、更なる進化を遂げるためには貴大学のような存在が不可欠と判断します。日本の技術を更に高める事を祈願致します

「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査



調査票/リーフレット



調査票

京都先端科学大学大学院 工学研究科
機械電気システム工学専攻への入学に関するアンケート

調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますます清秋の佳しとお慶び申し上げます。
さて、京都先端科学大学は2019年1月に存続京都科学大学へ大学名変更し、2020年4月に工学部が6に工学研究科を新設予定です。
そこで、このたびの改題計画を広く告知するために、皆さまの御意見を伺い、工学部工学研究科新設の参考にさせていただきます。アンケートを実施することとなります。
ご回答内容についてはコンピュータで処理し、集計目的で個人情報を使用することはありません。
業務ご多用の程、大変お手数ではございますがアンケート用紙をお送りさせていただきますので、ご返信の是非をご検討の上、何卒ご協力をお願い申し上げます。

敬告
2018年11月
学長 松本 隆

●調査回答の期日 締切日をご回答ください
毎月10日(月)09:00から15:00 締め切ります。

●調査締切日 **2018年12月10日(月)** 当日消印有効
各研究科の活用状況(回)を調査いたします。

期日等が不明な際にはお問い合わせください。下記へのご記入をお願いいたします。

お名前	姓	氏名
期日	電話	
送付用紙	住所	

※お返しのお願い
ご回答のお願いは、専攻の担当教員に、次の調査票をお送りください。
〒619-0282 京都府京都市伏見区南宇治 1-1-1 京都先端科学大学 工学部 工学研究科 学務課
TEL: 075-8517-1111 FAX: 075-8517-1112

●未回答に関するお問い合わせ
学長 松本 隆 TEL: 075-8517-1111 FAX: 075-8517-1112
学務課 学務課長 佐藤 隆 TEL: 075-8517-1111 FAX: 075-8517-1112
E-mail: info@kpu.ac.jp URL: www.kpu.ac.jp

はじめに、あなたご自身のことをお聞かせください。

F1. 性別 (DとFにO) F2. 年齢 歳

1. 男性 2. 女性

F3. 現在のお住まい (DとFにO)

1. 京都 2. 大阪 3. 兵庫 4. 奈良 5. 和歌山 6. 他府県
7. その他お住まい:

F4. 現在勤務されている会社における入社理由を教えてください。

理由

F5. 最終学歴とその学校名を教えてください。(DとFにO)

1. 高校卒 2. 短大卒 3. 大学卒 4. 大学院(博士)卒
5. 大学院(博士)卒 6. 専門学校卒 7. その他

ご卒校名

F6. 現在の職種を教えてください。(DとFにO)

1. 教授・准教授・人事・特別講師 2. 財源・管理関係職
3. 金融・マーケティング関係職 4. その他事務関係
5. 営業職 6. 設計・生産技術 7. IT・エンジニア
8. 専任・准任・機械系技術・研究 9. 専任・准任・その他系技術・研究
10. 専任・准任・技術系研究 11. その他研究・研究
12. その他

F7. 現在の役職に就いたものを教えてください。(DとFにO)

1. 社長・役員クラス 2. 部長クラス
3. 部長クラス(同僚)の専門職
4. 部長クラス(同僚)の専門職
5. 部長クラス(同僚)の専門職
6. 部長・主任クラス(同僚)の専門職
7. 部長・主任クラス(同僚)の専門職
8. その他
9. 役職にはついていない

F8. あなたは、社会人になってからどのような方法で、「学んたり・働いたり」したことがありますか。ご利用になったことがあるものをすべてお選びください。(いくつでもO)

1. 大学・短大に通った 2. 大学院に通った
3. 専門学校に通った 4. オンライン・オン・オフの遠隔で学んだ
5. 通信教育で学んだ 6. 民間のスクールに通った
7. 閉鎖する資格が購入：(独学) 8. その他
9. 社会人になってから、学んだ経験はなかった



F9. 今履、社会人として何かを「学び直し(再学習)」ということについて、どのようにお考えになりますか。あなたのお気持ちに近いものをお選びください。※学内学習-テーマ、方法は問いません。

1. 学ぶ必要を感じない
2. 学ぶ機会を必要と感じる
3. あまり必要を感じない
4. まったく必要を感じない

SF. F9 にお考えの理由を教えてください。

ここからは、2020年4月に始まる授業中の
京都先端科学大学大学院 工学研究科についてお聞きします。
 同科の「工学部-工学研究科 紹介リーフレット」をご覧くださいながら、お答えください。

Q1. 『京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻』について
(A) 最もお薦めする項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも○)
(B) 最もお薦めしない項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも○)

「京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻」の特徴	(A) 最もお薦め	(B) 最もお薦めしない
1. 京大工学部と連携した最先端の教育環境	1	1
2. 最新の設備と最先端の教育環境	2	2
3. 最先端の産業設備と最先端の教育環境 (IoT, AI, Big Data, Cloud, etc.)	3	3
4. 最先端の産業と最先端の教育環境の両方に貢献できる高度な専門知識と高度な技術者養成を目指すこと	4	4
5. 最先端の産業と最先端の教育環境の両方に貢献できる高度な専門知識と高度な技術者養成を目指すこと	5	5
6. 最先端の産業と最先端の教育環境の両方に貢献できる高度な専門知識と高度な技術者養成を目指すこと	6	6
7. プロフェッショナルに貢献する高度な専門知識と高度な技術者養成を目指すこと	7	7
8. 大学院の研究テーマ(特)の内容	8	8

次のページにお進みください

「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査

Q2. 授業科目中の「大専修 工学研究科機械電気システム工学専攻」で学ぶことについてどのようにお考えですか。あなたのお気持ちに近いものをお選びください。(それぞれひとつに○)
 ※現在の勤務状況による希望は含まず、「希望すれば学ぶことが可能な状況である」場合のお気持ちをお答えください。

<1. 大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻(前期課程)>について

1. 学ぶ必要を感じない
2. 学ぶ必要を感じない
3. 学ぶ必要を感じない
4. 学ぶ必要を感じない
5. 学ぶ必要を感じない

SQ1. Q2-1 にお考えの理由を教えてください。

<2. 大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻(後期課程)>について
 ※後期課程については、貴企業の方にお聞きください。

1. 学ぶ必要を感じない
2. 学ぶ必要を感じない
3. 学ぶ必要を感じない
4. 学ぶ必要を感じない

SQ1. Q2-2 にお考えの理由を教えてください。

Q3. 生まれ変わる「京都先端科学大学」に対するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

質問はこれで終了です。長時間ご協力いただきありがとうございました。



紹介リーフレット

The image shows a collection of promotional materials for the Faculty of Engineering, Department of Mechanical and Electrical Systems Engineering at Kyoto University of Advanced Science (KUAS). It includes a main brochure with the department name in large characters, a smaller leaflet titled '2020年4月開学' (Starting in April 2020), and another leaflet titled '工学部 機械電気システム工学専攻' (Faculty of Engineering, Department of Mechanical and Electrical Systems Engineering). The materials feature photos of students in a laboratory setting and text describing the department's focus on advanced technology and industry collaboration.

「京都先端科学大学大学院 工学研究科」入学意向調査

京都先端科学大学大学院 工学研究科

機械電気システム工学専攻への入学に関するアンケート

調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、京都学園大学(2019年4月に京都先端科学大学へ大学名変更)は、2020年4月に工学部ならびに工学研究科を設置構想中です。

そこで、このたびの設置計画をより充実させるために、皆さまから率直な意見をお聞きし、工学部・工学研究科新設の参考にさせていただきたいと思い、アンケートを実施することとなりました。

ご回答内容についてはコンピュータで処理され、他の目的で個人情報を使用することはありません。

業務ご多用の折、大変お手数ではございますが、アンケート用紙をお送りさせていただきましたので、本調査の主旨をご理解の上、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。

敬具

2018年11月

学校法人京都学園

- 調査回答の謝礼 締切日までにご回答いただいた方
全員に謝礼(QUOカード500円分)をお送りいたします。
- 調査締切日 **2018年12月10日(月)**: 当日消印有効
※同封の返信用封筒(切手不要)にてご投函ください。

謝礼をお送りする際に必要となりますので、下欄へのご記入をお願いいたします。

謝礼不要の場合、 右欄に○印をお願いします→	
---------------------------	--

お名前		貴社名	
謝礼	〒 -	電話	()
送付用			
ご住所			

※本調査の実施は、所定の契約を結んだ上、次の調査会社に業務委託しております。

< 調査内容・記入方法に関するお問い合わせ > 株式会社アンド・デイ 調査担当：高石・石河 (社団法人日本マーケティング・リサーチ協会 正会員 No.20143) 〒105-0004 東京都港区新橋 6-9-6 12 東洋海事ビル 5F TEL : 03-5408-6555 FAX : 03-5408-6551	
---	--

■本件に関するお問い合わせ

学校法人京都学園 工学部設置準備室 担当：高橋 〒615-8577 京都市右京区山ノ内五反田町 18

E-mail: secchi@kyotogakuen.ac.jp TEL : 075-406-9211

F9. 今後、社会人として何かを「学ぶ(学び直しをする)」ということについて、どのようにお考えになりますか。あなたのお気持ちに近いものをお選びください。※学ぶ内容・テーマ、方法は問いません。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. とても必要性を感じる | 2. ある程度必要性を感じる |
| 3. あまり必要性を感じない | 4. まったく必要性を感じない |

SF. F9 のようにお考えの理由を教えてください。

ここからは、2020年4月に設置構想中の
京都先端科学大学 大学院 工学研究科についてお聞きます。
 同封の『工学部・工学研究科 紹介リーフレット』をご覧くださいながら、お答えください。

Q1. 『京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻』について

(A)魅力的だと思う項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも○)

(B)「他にはない」特徴だと思う項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも○)

「京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻」の特徴		(A) 魅力的	(B) 他にはない
1	京都先端科学大学大学院 という新しい校名になること	1	1
2	キャンパスの立地 (地下鉄太秦天神川駅より徒歩3分)	2	2
3	最先端の研究設備を備えた研究環境での ORT (on the Research Training)	3	3
4	次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者の育成を目指していること	4	4
5	研究対象となる学問分野の内容 (広義のメカトロニクス分野)	5	5
6	関連する産業応用分野の内容	6	6
7	グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導が受けられること	7	7
8	大学院の研究テーマ(例)の内容	8	8

次のページにお進みください

Q2. 設置構想中の『大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻』で学ぶことについてどのようにお考えですか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれひとつに○)

※現在の勤務状況等による事情は含まず、「希望すれば学ぶことが可能な状況である」場合のお気持ちをお答えください。

<1. 大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻(前期課程)>について

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. ぜひ入学して学びたい | 2. 入学して学びたい |
| 3. あまり入学して学びたいと思わない | 4. まったく入学して学びたいと思わない |
| 5. 自分の専門分野と異なる為、学部に編入して学びたい | |

SQ1. Q2-1 のようにお考えの理由を教えてください。

<2. 大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻(後期課程)>について

※後期課程については、修士卒の方のみお答えください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. ぜひ入学して学びたい | 2. 入学して学びたい |
| 3. あまり入学して学びたいと思わない | 4. まったく入学して学びたいと思わない |

SQ1. Q2-2 のようにお考えの理由を教えてください。

Q3. 生まれ変わる「京都先端科学技術大学」に対するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

質問はこれで終了です。長時間ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

工学研究科機械電気システム工学専攻(仮称) (博士課程前期/博士課程後期)

大学院のキーワードは“創造”
国際的に活躍する教員陣が新しい概念の“創造”を担う若手人材を育成。

新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成します。学生は研究室に配属され、グローバルに活躍する国際色あふれる教員陣が最先端の研究設備を揃えた研究環境でORT(on the Research Training)を実施します。



博士課程前期

【養成する人物像】

次世代の電気機械システムに必須の専門領域の高度な知識を修得し、新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度専門技術者・研究者を育成します。

【修了後の進路】

メーカーの設計・生産・開発・品質管理の各部門の高度専門技術者、研究者

博士課程後期

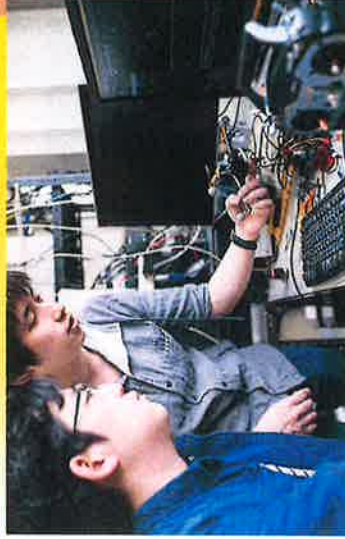
【養成する人物像】

専門領域の高度な知識に加え、多様な学問分野の動向と社会ニーズを踏まえた社会的ニーズの高い問題発見能力を有し、新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる研究者を育成します。

【修了後の進路】

メーカーの研究・開発部門における研究者および高等教育機関、高等研究機関における研究者、教員

2020年4月 開学



工学研究科

機械電気システム工学専攻 (仮称)
博士課程前期/博士課程後期

工学部

機械電気システム工学科 (仮称)
副学部長室



資料 4

京都太秦キャンパス 新たに誕生します



大学院の研究テーマ(例)

- 電力制御用ソリッドステートシステム
- 埋め込みシステム用メタプログラミング
- 模倣学習によるヒューマン・ロボットの技能伝承
- 群ロボットの分散制御
- マイクロセンシングシステム



KUAS

KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE
京都先端科学大学

<https://www.kyotogakuen.ac.jp/>

太秦キャンパス

〒615-9577 京都市右京区山ノ内五反田E1-8

亀岡キャンパス

〒621-8555 京都府南丹市亀岡町南条大谷1-1

【お問合せ】工学部設置準備室

Tel:075-406-9211 E-mail: esochi@kyotogakuen.ac.jp

京都太秦キャンパス
経済経営学部 経営学科
健康医療学部 看護学科
人文学部 歴史文化学科
心理学部

京都亀岡キャンパス
健康スポーツ学部
バイオ環境学部
バイオデザイン学科
バイオサイエンス学科

工学部 機械電気システム工学科 (仮称)

設置構想中

2020年4月、工学の未来を拓く教育・研究拠点が京都太秦キャンパスに誕生！
ロボット、ドローン、電気自動車…
新設工学部は、成長著しい分野のグローバルエンジニア・研究者を育てます。

日本の産業を支える 工学人材の育成をめざして

ロボットやドローン、電気自動車など新しい産業分野が著しい発展を遂げ、日本のモノづくりの未来を支える産業として期待を集めています。一方、これらの分野で即戦力として活躍できるエンジニアや研究者の育成が大きな課題となっています。2020年4月に誕生する工学部機械電気システム工学科(仮称)は、未来に貢献できるグローバルな工学人材の新しい育成拠点をめざします。



● 学びの特色

- 工業数学・物理工学を徹底学習**
低年生では専門領域の基礎となる数学・物理学の講義と演習を重視し洞察力を養います。標準的な工学部カリキュラムの1.5倍の時間を費やします。
- 実習・演習・PBL型学習に挑戦**
個人ワーク(演習)とグループワーク(実習・PBL)に繰り返し取り組み、専門領域への理解と、考察力・実践力を養います。
- コースツリーで専門性を育む**
制御工学、モーター工学、電池工学、パワーデバイス工学などの専門科目から適切に選択して履修することでロボット分野、電気自動車分野など将来の進路に合わせて学習できます。
- 電子教材を積極的に活用**
学生一人ひとりにパソコンあるいはタブレットを支給し、講義・演習・実験・自宅学習で専門的な科学技術計算ソフトウェアや電子教材を駆使して効率的に専門分野の力を養います。
- キャリアアップストーンで総仕上げ**
3回生と4回生で2回、企業から提示された課題の解決に半年間取り組み「総合的な経験をする実践的教育プログラム」キャリアアップストーンに取り組めます。



成長分野の未来を担うグローバルエンジニアとして就職 大学院工学研究科への進学も (2020年設置構想中)

自律力・洞察力・考察力・実践力、
そして創造力を身に付け、
既存の枠組みを壊して未来に挑もう!



田畑 修
京都大学
大学院工学研究科教授
京都先端科学大学
工学部長・工学研究科長
就任予定

キャップ ストーン

実習・ PBL型学習※、 インターンシップ

※本学独自の「Project Based Learning」の
実践型学習で、自ら課題を設定し、解決策を
自ら考え実行する、チームで協力し、成果を
自ら発表する学び。

最新施設の活用

- 2020年4月に竣工する
最新鋭の実験・研究設
備を備えた工学部棟が
学びの舞台
(京都太秦キャンパス)

実践英語プログラム

- 工学部ではベルリッツと
連携した集中的な実践
英語の授業を1・2回生
に開講



工学部からの 進路想定

モーター・機械・自動車・医療機器・産業用ロボット・家電・食品・
自動車部品・デバイスなどのメーカーの設計・生産・開発・
品質管理の各部門の技術者、セールスエンジニア など

添付省略

1. 書類等の題名

(資料 5) 近隣の私立大学大学院 工学研究科の初年度(1年次)の学費

2. 出典

日本私立大学団体連合会

3. 引用元

「学生納付金等調査(平成30年6月)」

4. 説明

「学生納付金等調査(平成30年6月)」(発行:日本私立大学団体連合会)より、近畿圏私立大学大学院 工学系研究科(博士課程前期、博士課程後期)の初年度納付金を抜粋して掲載した。

留学エージェント一覧

資料 6

	組織名称	貴機関を通じて京都先端科学 大学大学院の工学研究科に何 人の留学生が出願すると思わ れますか？	政府認定を含む 認定ライセンス	所属するエージェント協会 名
1	HYPER LEARNING & CONSULTANCY SOLE CO., LTD	0	NA	BMI, British Council
2	Brillante Travel Services	10 students or more	We are accredited travel agency of Philippine Department of Tourism. We are also registered company from Department of trade & Industry.	We are accredited education agent of BMI. We are also recognized marketing agent of educo Global (a group of
3	Asiania International Consulting CO LTD	1- 4 students	Member of Australian Thai Chamber (Non profit Centre)	None
4	kapri Education and Immigration Services Pvt. Ltd.	10 students or more	We are Government of India Approved Licence Company.	British Council, BMI, IDP Australia
5	Naresy International Education Consultant	1- 4 students	Our company is registered to the Agency of One-Door Integrated Service and Capital Investment of Denpasar City, Bali. The registration	BMI Pieoneer (One of the shortlisted finalists for the Education Agency of The Year Award in 2018)
6	Deow Vietnam	1- 4 students	- Business License - Staff's Japanese certificates: BJT J3, JLPT N2 - We are studying Consultant class	Japan Commission for the Regulation of Overseas Services (J- CROSS) AssociationsJapan Association of
7	Seven Education - 7Edu	0 students	We are a certified education agent in Vietnam. Our business registration number is: 0107726517	Our education consultants have PIER certificates
8	QM STUDY OFFICE	1- 4 students		BMI, ICEF
9	D S Study International (trading as Study International)	1- 4 students	N/A	BMI ICEF
10	Mandarina Enterprise Sdn Bhd (Trading as Transnational Education)	5-9 students	business permit Translation My CoID :1090970A	None
11	Able Academy	10 students or more	Government licensing to operate as a agent is not required / applicable in my region	ICEF, ALPHE, WEBA, BMI, NET, ARCCOMS, Approved IELTS registration centre of IDP Australia, Professional partner of Pearson test
12	Dong Son Education	1- 4 students	We got licenses from Hanoi Education Department, and Department of Planning and Investment for operating in consulting	British Council
13	Akane-Asia Consulting Co., Ltd.	5 -9 students		No
14	Union Education	1- 4 students	Immigration Adviser Licences NZ Immigration and Investment Association Australia and New Zealand	BMI, ICEF
15	overseas study hub ltd part		We are a member of New Zealand Education, Study UK, ICEF, British Council, BMI and Study Australia as well as we are registered with the	BMI, ICEF, British Council, New Zealand Education, Study UK and Study Australia

	組織名称	貴機関を通じて京都先端科学 大学大学院の工学研究科に何 人の留学生が出願すると思わ れますか？	政府認定を含む 認定ライセンス	所属するエージェント協会 名
16	Pathfinders International Education Pvt. Ltd	10 students or more	WEBA, ICEF, St. ALPHE & BMI	
17	Leadership And Management Institute	5 -9 students	ACRA MOE Pearson	Nil
18	CMS (Pte) Ltd	1- 4 students	We are an established education consultancy firm and have a long term relationship with the Australian High Commission, the New Zealand	Being a long established firm of education consultants since 1982 we are not required to register ourselves under any of the associations
19	New Century Education and Services Company Ltd.,	5 -9 students	Vietnam Business License in Study Abroad	ICEF, BMI
20	EDULINE ACADEMY	10 students or more	Study aboard Advisory Certificate from Department of Education.	BMI
21	GLOBAL STUDY ABROAD	1-4 students	BRN: 200913000W	CEF, BRITISH COUNCIL CERTIFIED COUNSELLOR
22	TravelWorks	1- 4 students	General State Registration Number: 1123668043730	TravelWorks is a member of ICEF, WYSETC
23	Gled- Hey	1- 4 students	yes our RCF is ENI1408208ea educaci7n nacional e internacional sc	ICEF, AMTE
24	Do It Abroad	1- 4 students	Registration at the RCS : Number 827 714 668 R.C.S	ICEF

京都先端科学大学工学部&工学研究科設置受容性調査
(企業 (採用意向))

調査結果報告書

2018年12月



- 目次	2
- 調査概要	3
✓ 「京都先端科学大学工学部&研究科」の受容性	5
- 【大学】工学部機械電気システム工学科の採用意向	6
- 【大学】工学部機械電気システム工学科の採用人数	7
- 【大学】工学部機械電気システム工学科の魅力	8
- 【大学】工学部機械電気システム工学科の他にはない特徴	9
- 【大学院】工学部機械電気システム工学専攻の採用意向	10
- 【大学院】大学院工学研究科機械電気システム工学専攻の採用人数	11
- 【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の魅力	12
- 【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の他にはない特徴	13
✓ 社員の「学び直し」制度の実態と必要性	15
- 「社員の学び直し」制度の状況	16
- 「社員の学び直し」の必要性	17
- 「社員の学び直し」の必要性の理由	18
✓ 回答企業プロフィール	19
- 回答企業プロフィール	
• 主業種/従業員規模	20
• 3年以内の新卒者の最終学歴	21
• 2018年4月の新卒採用状況【大学卒/大学院卒】	22
• 今後の新卒採用予定の最終学歴	23
• 2019年4月の新卒採用予定【大学卒/大学院卒】	24
• ご意見・ご要望	25
✓ 調査票・資料	27
- 調査票	28
- 紹介リーフレット	30

「京都先端科学大学 工学部&工学研究科」の受容性

「大学」工学部機械電気システム工学科の採用意向

- ✓ 【全体】「工学部機械電気システム工学科」で学んだ学生について、
 - 採用対象になる **158社 (74%)**
 - 採用対象・計 **173社 (81%)**
(採用対象になる158社 + おそらく採用対象になる15社)
 - 採用検討対象・計 **203社 (94%)**
(採用対象になる158社 + おそらく採用対象になる15社 + 採用対象として検討してもよい30社)

■【大学】工学部機械電気システム工学科の採用意向 (新卒採用予定あり/単一回答)
Q3-1. 工学部機械電気システム工学科で学んだ学生の新卒採用についてどのようにお考えですか。(ひとつ)

*凡例	(n)	採用検討対象-計		採用非対象-計		無回答	採用検討対象-計	採用対象-計	採用非対象-計	加重平均値
		採用対象になる (5)	おそらく採用対象になる (4)	採用対象として検討してもよい (3)	あおり採用対象にはならない (2)					
【企業】全体	(n= 215)	70.0	14.0	2.8	1.4	1.4	94.4	80.5	4.2	4.50
【業種別】										
鉄鋼・金属製造業	(n= 23)	78.3	13.0	3.0	3.0	3.0	91.3	87.0	8.7	4.52
機械・器具製造業	(n= 71)	77.0	11.3	1.4	1.4	1.4	98.6	87.3	—	4.70
電気・通信機械製造業	(n= 62)	79.0	16.1	3.2	3.2	3.2	93.5	77.4	3.2	4.50
その他の製造業	(n= 51)	64.7	21.6	5.9	3.9	—	90.2	68.6	9.8	4.16
【従業員規模別】										
100人未満	(n= 30)	73.3	16.7	6.7	6.7	—	86.7	50.0	6.7	3.93
100~500人未満	(n= 140)	75.0	8.5	2.1	2.1	—	95.0	86.4	4.3	4.62
500~1000人未満	(n= 23)	78.3	17.4	1.7	1.7	—	100.0	82.6	—	4.48
1000人以上	(n= 21)	76.2	14.3	4.8	4.8	—	95.2	81.0	4.8	4.52
【大学卒採用数別】										
1~9人	(n= 134)	75.4	10.4	1.5	1.5	—	96.3	85.0	3.7	4.61
10人以上	(n= 40)	77.5	15.0	2.5	2.5	—	97.5	82.5	2.5	4.50
新卒は採用しなかった	(n= 28)	75.0	17.9	7.1	3.6	3.6	85.7	67.9	10.7	4.22

Q3-1

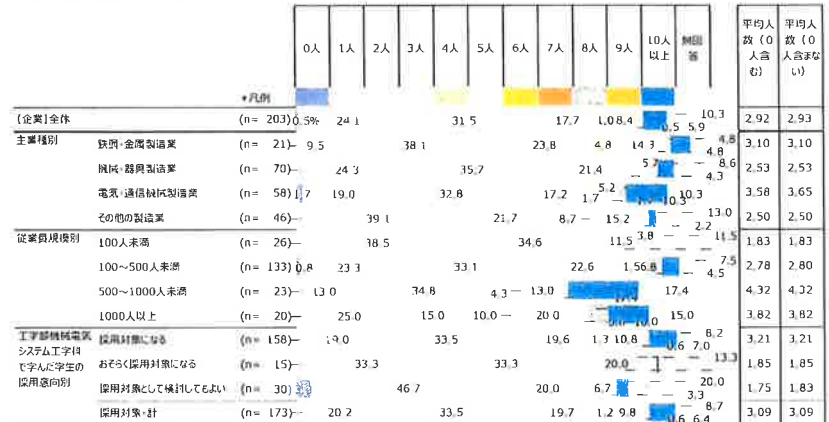


【大学】工学部機械電気システム工学科の採用見込み人数

- ✓ **【全体】「工学部機械電気システム工学科」で学んだ学生の採用見込み人数の合計は531人、平均2.9人**
- ✓ **【従業員規模別】従業員規模が大きいほど平均採用見込み人数も多くなる傾向**
 - 特に「500~1000人」の採用見込みが最も多く4.3人（100人未満と比較して+2.5人）。
- ✓ **【採用意向別】当該学科卒業生に対する採用意向の高い企業ほど平均採用見込み人数が多い**
 - 「採用対象となる」と明確に回答している企業は3.2人で全体を上回る。
 - o また「採用対象として検討してもよい」と比較すると1.5人上回る。

■【大学】工学部機械電気システム工学科の採用見込み人数（採用検討対象/実数→単一回答）

Q3-SQ1-1. <工学部 機械電気システム工学科> 何人程度の採用が見込めるかについて、おおよそで結構ですので、人数をご記入ください。



Q3SQ1-1

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

7

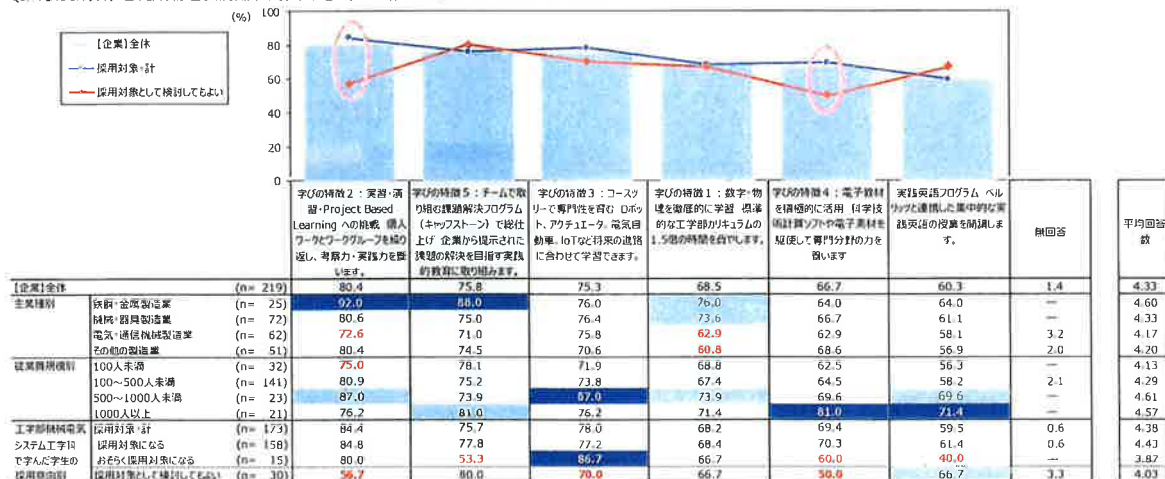


【大学】工学部機械電気システム工学科の魅力

- ✓ **【全体】工学部機械電気システム工学科の特徴のうち、最も魅力的な内容は「学びの特徴2：実習・演習・Project Based Learning への挑戦」（80%）**
 - 次いで「学びの特徴5：チームで取り組む課題解決プログラム」（76%）、「学びの特徴3：コースツリーで専門性を育む」（75%）。
- ✓ **【採用意向別】採用対象・計においても、最も高いのは「学びの特徴2：実習・演習・Project Based Learning への挑戦」（84%）**
 - 次いで「学びの特徴3：コースツリーで専門性を育む」（78%）、「学びの特徴5：チームで取り組む課題解決プログラム」（76%）で、上位の顔ぶれは全体スコアと同様だが、2位と3位が入れ替わる。
 - 「学びの特徴2：実習・演習・Project Based Learning への挑戦」と「学びの特徴4：電子教材を積極的に活用」は『採用対象として検討してもよい』のスコアよりも19pt以上上回る項目。

■【大学】工学部機械電気システム工学科の魅力（全体/複数回答）

Q1「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」について、(A)魅力的だと思う項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも)



○【全体】より ●10ポイント以上高い / ◆5ポイント以上高い / ※5ポイント以上低い

※【企業全体】内訳不明

Q1_3

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

8

✓【全体】工学部機械電気システム工学科の特徴のうち、他に無い特徴は「学びの特徴5：チームで取り組む課題解決プログラム」「実践英語プログラム」(28%)

- 次いで「学びの特徴1：数学・物理を徹底的に学習」(21%)、「学びの特徴3：コースツリーで専門性を育む」(17%)。

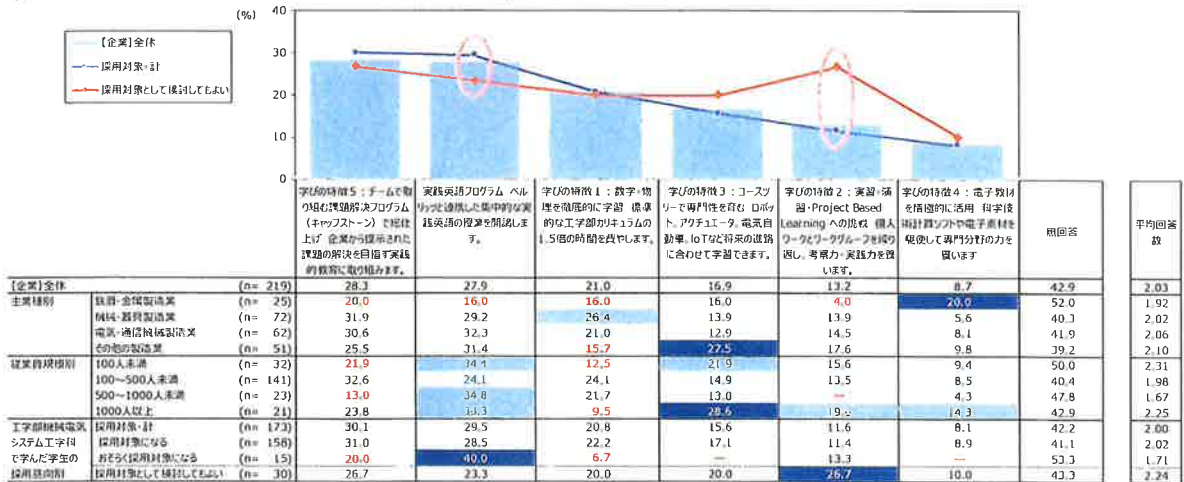
✓【採用意向別】採用対象・計においても、最も高いのは「学びの特徴5：チームで取り組む課題解決プログラム」「実践英語プログラム」(30%)

- 次いで「学びの特徴1：数学・物理を徹底的に学習」(22%)で、上位の顔ぶれは全体スコアと同様。

- 「実践英語プログラム」が『採用対象として検討してもよい』のスコアより6pt上回る項目。
 ○ 一方、「学びの特徴2：実習・演習・Project Based Learning への挑戦」は-19ptと大きく下回る項目。

■【大学】工学部機械電気システム工学科の他には無い特徴 (全体/相対回答)

Q1『京都先端科学大学 工学部機械電気システム工学科について、(B)「他に無い特徴」と思ふ項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも)』



○：【全体】より ■：10ポイント以上高い / ◻：5ポイント以上高い / ◻：5ポイント以上低い

○：【企業全体】相対スコア

Q1-B

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

✓【全体】「工学研究科機械電気システム工学専攻」で学んだ学生について、

採用対象になる 133社 (62%)

採用対象・計 156社 (73%)

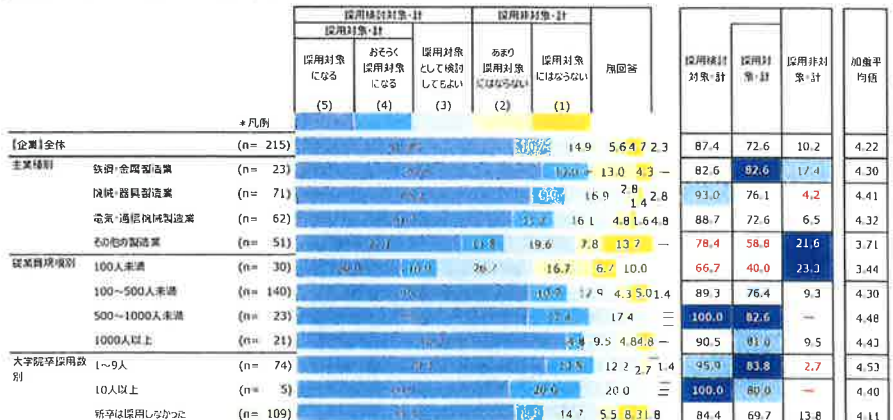
(採用対象になる133社 + おそれる採用対象になる23社)

採用検討対象・計 188社 (87%)

(採用対象になる133社 + おそれる採用対象になる23社 + 採用対象として検討してもよい32社)

■【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の採用意向 (新卒採用予定あり/単一回答)

Q3-2. 設置構想中の工学研究科機械電気システム工学専攻に学んだ学生の採用についてどのようにお考えですか。(いくつ)



「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

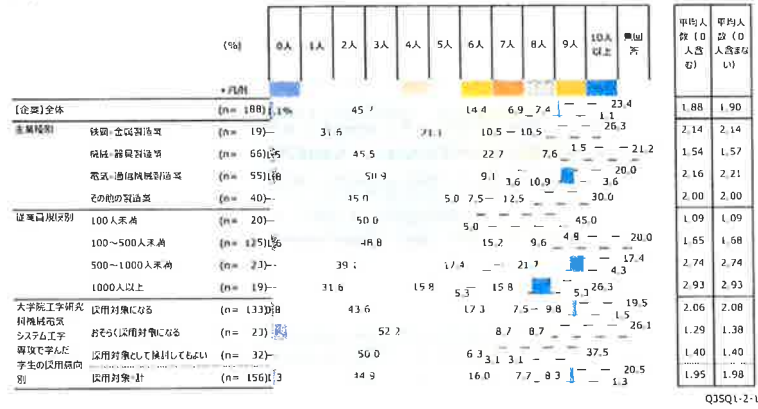
【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の採用見込み人数（前期・後期）

- ✓ 【全体】「工学研究科機械電気システム工学専攻」で学んだ学生の採用人数は
前期： 総計270人 1社平均1.9人
後期： 総計169人 1社平均1.4人

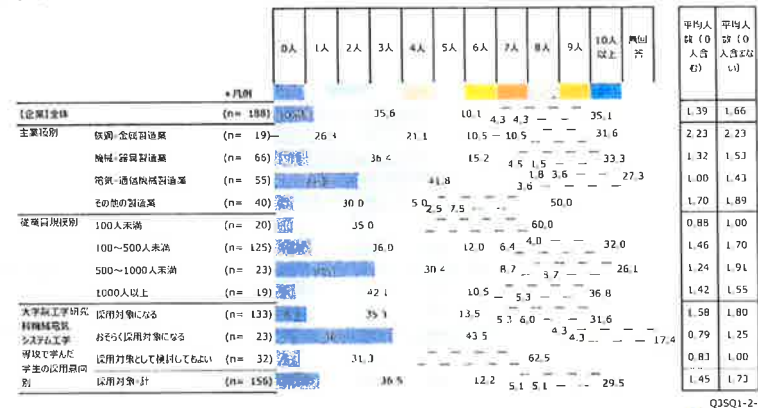
- ✓ 【従業員規模別】従業員規模が大きい企業ほど採用人数が多くなる傾向

- ✓ 【採用意向別】採用意向の高い企業ほど採用人数が多い
- 特に「採用対象となる」と明確に回答している企業では、前期・後期ともに、全体平均を上回る。

■【大学院】工学研究科 機械電気システム工学専攻の採用見込み人数（前期）（採用検討対象/複数→単一回答）
Q3-SQ2-1.<工学研究科 機械電気システム工学専攻：前期> 何人程度の採用が見込めるかについて、おおよそで結構ですので、人数をご記入ください。



■【大学院】工学研究科 機械電気システム工学専攻の採用見込み人数（後期）（採用検討対象/複数→単一回答）
Q3-SQ2-2.<工学研究科 機械電気システム工学専攻：後期> 何人程度の採用が見込めるかについて、おおよそで結構ですので、人数をご記入ください。



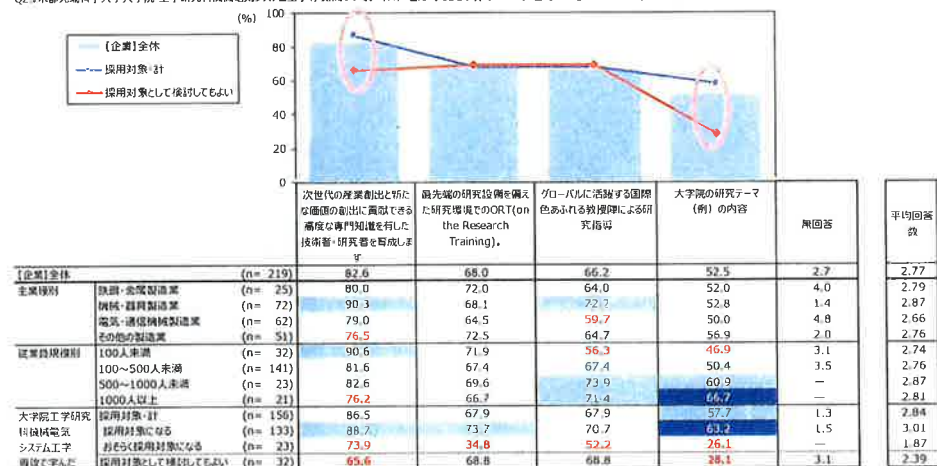
「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の魅力

- ✓ 【全体】工学研究科機械電気システム工学専攻の特徴のうち、もっとも魅力的な内容は「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」（83%）
- 次いで「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」（68%）、「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」（66%）。
- ✓ 【採用意向別】採用対象・計においても、最も高いのは「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」（87%）
- 次いで「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」（同68%）で、上位の顔ぶれは全体スコアと同様。
- 「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」と「大学院の研究テーマの内容」は『採用対象として検討してもよい』のスコアよりも20pt以上上回る項目

■【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の魅力（全体/複数回答）

Q2「京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻」について、(A) 魅力的に思う項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも)



○：「全体より」「10ポイント以上高い」「5ポイント以上高い」「5ポイント以上低い」

△：「企業全体」(1)標準スコア

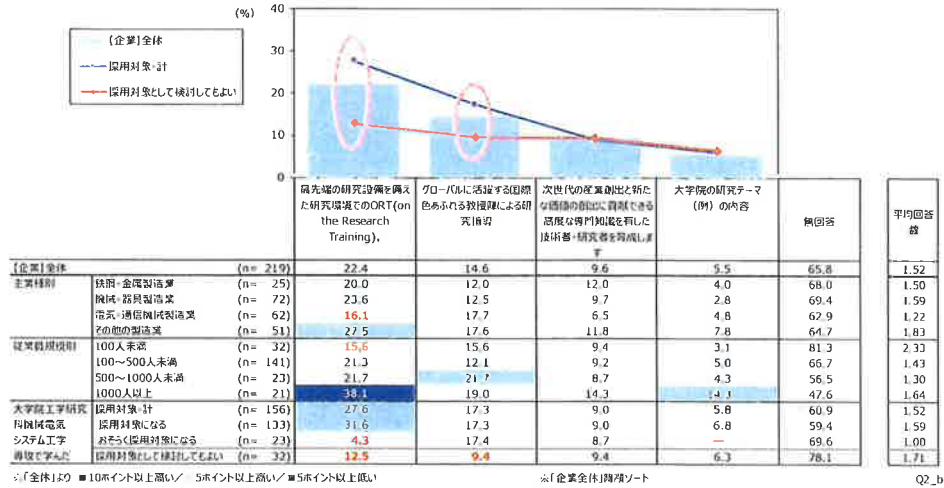
Q2_a

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

- ✓ **【全体】工学研究科機械電気システム工学専攻の特徴のうち、他に無い特徴は「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」（22%）**
 - 次いで「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」（15%）、「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」（10%）。
- ✓ **【採用意向別】採用対象・計においても、最も高いのは「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」（28%）**
 - 次いで「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」（17%）、「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」（9%）で、上位の顔ぶれは全体スコアと同様。
 - 「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」と「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」は『採用対象として検討してもよい』のスコアを10pt前後上回る。

■〔大学院〕工学研究科機械電気システム工学専攻の他には無い特徴（全体/複数回答）

Q2「京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻について、(B)「他にない特徴」と思う項目について、番号に○をつけてください。(1つでも)



○「全体」は○ 10ポイント以上高い / 5ポイント以上高い / 5ポイント以上低い

※「企業全体」降格ソート

Q2_b

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



社員の学び直し制度の実態と必要性



社員の学び直し制度の実態

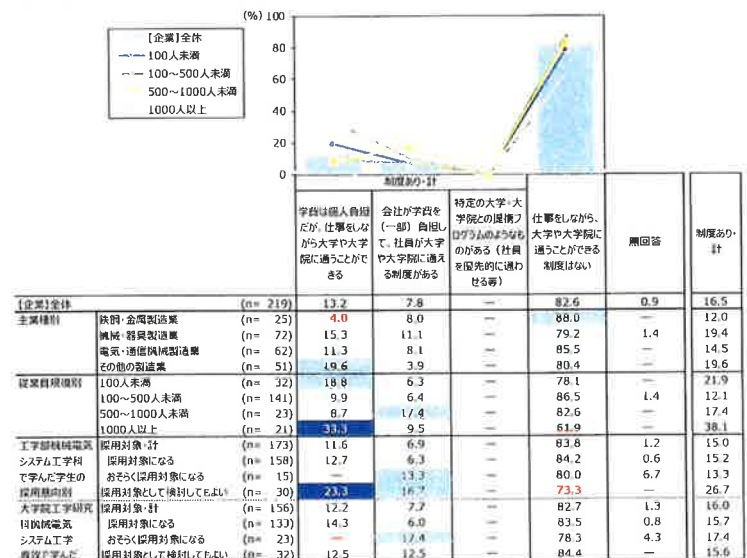
✓ 【全体】社員の学び直しに関する制度がある企業は2割弱（制度あり・計）

✓ 【従業員規模別】『1000人以上』の企業では「制度あり・計」が4割弱

- 制度の内訳を見ると、『500～1000人未満』以外の3層では、「学費は個人負担だが、仕事をしながら大学や大学院に通うことができる」が最も高く、『1000人以上』では3割強。
- 『500～1000人未満』のみ「会社が学費を負担して、社員が大学や大学院に通える制度がある」が最も高かった。

■「社員の方々の学び直し」に対する貴社の状況（全体／複数回答）

Q4「社員の方々の学び直し」について、以下の中で、貴社の状況にあてはまるものをお選びください。（いくつでも）



（「全体」の） ■10ポイント以上高い／ 5ポイント以上高い／ 5ポイント以上低い



社員の学び直しの必要性

- ✓ 【全体】社員の学び直しは必要であると回答した企業は8割弱（とても必要性を感じる+ある程度必要性を感じる）
- ✓ 【従業員規模別】『500人～1000人未満』『1000人以上』の企業では、9割が学び直しが必要と回答
- ✓ 【学び直しの状況別】すでに学び直し制度がある企業では、9割強が学び直しが必要と回答
 - 制度のない企業でも8割弱は必要とであると回答。

■「社員の方々の学び直し」に対する貴社のお考え（全体/単一回答）

Q5. 今後の社会において、貴社の社員の方が「必要な学び直し（学び直しを要する）」について、どのようにお考えですか。貴社にもっと学び直しの必要を感じていますか。

	n	必要と学び直し		必要を感じない	無回答	必要と必要を感じない
		とても必要を感じる	ある程度必要を感じる			
【企業】全体	(n= 219)	63.5	20.5	0.9	15.1	78.5
従業員規模						
銀行・証券・保険業	(n= 25)	56.0	24.0	-	-	76.0
電気・機械器具製造業	(n= 72)	55.0	19.4	-	-	80.6
電気・通信機械器具製造業	(n= 62)	61.3	22.6	1.6	-	75.8
その他製造業	(n= 51)	70.8	19.6	-	-	80.4
従業員規模別						
100人未満	(n= 32)	75.0	15.6	-	-	84.7
100～500人未満	(n= 141)	58.2	25.5	0.7	-	73.3
500～1000人未満	(n= 23)	71.7	3.7	-	-	91.3
1000人以上	(n= 21)	71.4	9.5	-	-	90.5
工学部/工学研究科						
工学部/工学研究科	(n= 173)	60.0	19.7	-	-	80.3
工学部/工学研究科	(n= 158)	50.6	19.6	-	-	80.4
工学部/工学研究科	(n= 15)	66.7	20.0	-	-	80.0
工学部/工学研究科	(n= 30)	56.7	16.7	-	-	83.3
工学部/工学研究科	(n= 156)	63.5	19.9	-	-	80.1
工学部/工学研究科	(n= 133)	54.9	18.8	-	-	81.2
工学部/工学研究科	(n= 23)	59.5	26.1	-	-	73.9
工学部/工学研究科	(n= 32)	62.5	6.3	-	-	93.8
学び直しの状況別						
制度あり（個人負担）	(n= 29)	79.0	5.9	-	-	93.1
制度あり（一部負担）	(n= 17)	58.8	5.9	-	-	94.1
制度なし	(n= 181)	55.2	23.2	0.6	-	75.7

「全体」より ■ 10ポイント以上高い / 5ポイント以上高い / 0.5ポイント以上高い

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

Q5



社員の学び直しの必要性の理由抜粋（すでに学び直し制度がある企業）

F1. 主業種	F2. 従業員規模	当該学部採用意向			Q5sq1. 学び直しの必要性の理由
		Q3-1. 大学	Q3-2. 大学院	Q4. 学び直し制度有無	
<新たな分野や産業への挑戦・習得のため>					
金属製品製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	新しい技術や分野への挑戦にはある程度知識の習得が必要となる為
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1000～3000人未満	◎	◎	制度なし	新しい産業分野が発展を遂げることで即戦力人材の獲得は困難となる。
はん用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	自社社員レベルの向上により課題解決の一策を講じる必要性があると感じているため
電気機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	新しいテクノロジー等がどんどん出てきてそれに対応するには学び直しは必要
電気機械器具製造業	500～1000人未満	◎	◎	制度あり：個人負担	新たな産業を創造する上で最先端の技術を取り上げていくことは不可欠
<視野を広げるため>					
はん用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	業務以外のことも含め、学ぶ機会を持たないと視野が狭くなる
生産用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	業務上に必要な知識（必要になる知識）を常に学ぶ必要があると考えており、
電気機械器具製造業	500～1000人未満	○	○	制度あり：会社負担	業務時間内で様々な社内外の研修に参加しているため
<自己啓発・キャリアアップのため>					
その他製造業	1000～3000人未満	◎	◎	制度なし	時間にゆとりがないが、個人の能力を高める上では魅力
はん用機械器具製造業	100人未満	△	△	制度なし	自己啓発支援の観点から
その他製造業	1000～3000人未満	×	×	制度なし	自己成長に繋がる為
輸送用機械器具製造業	100～500人未満	◎	○	制度なし	キャリアアップの為に学ぶ事は必要と考えます
<技術の進歩に対応するため>					
生産用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	技術は日々進歩するものであること。
はん用機械器具製造業	500～1000人未満	◎	◎	制度なし	学びの場では他企業との人脈作りが可能であること
はん用機械器具製造業	1000～3000人未満	◎	◎	制度なし	技術力強化の為
<業務に必要なため>					
その他製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	業務に必要な知識が後から出てくる可能性がある為
その他製造業	1000人以上	◎	◎	制度なし	業務に関わる内容も変わったりする場合もあるので、
その他製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	それらを学ぶ（学び直す）必要もあるかと思えます
<最先端を学べるため>					
電気機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	最新の知識、技術の動向を取得できるような機会となるため
輸送用機械器具製造業	500～1000人未満	◎	◎	制度なし	最先端の考え方を実用化する力を身につける必要がある為
生産用機械器具製造業	100～500人未満	◎	×	制度なし	最先端の技術について学ぶ必要があると思う為
生産用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	最先端の知識を得られる場として必要と思えますが、中小企業では社員が1人でも欠けると業務に支障があり、実現に難しさを感じます

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

43



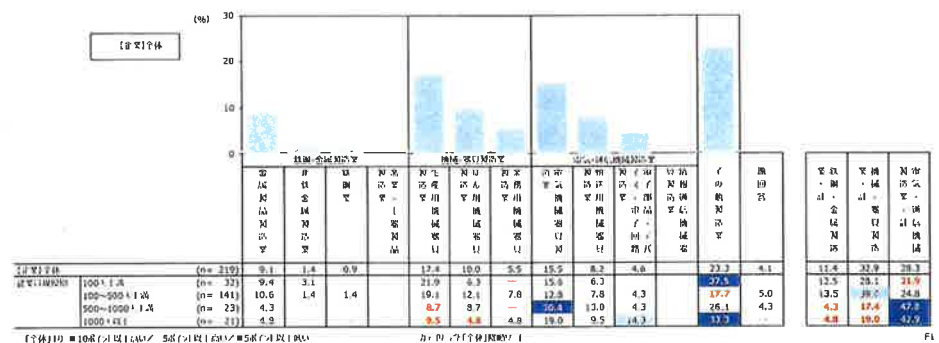
回答企業プロフィール



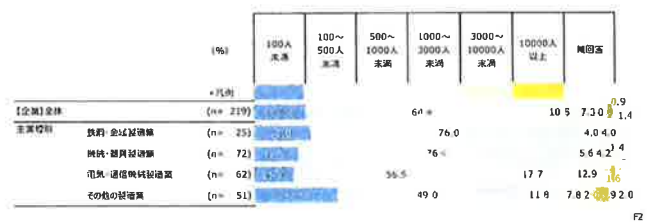
回答企業プロフィール 主業種／従業員規模

- ✓ 調査協力企業の業種は「機械・器具製造・計」（33%）が最も多い
 - 次いで「電気・通信機械製造業・計」（28%）、「鉄鋼・金属製造業・計」（11%）。
- ✓ 従業員規模は「100～500人未満」（64%）が最も多い。

■主業種（全体／単一回答）



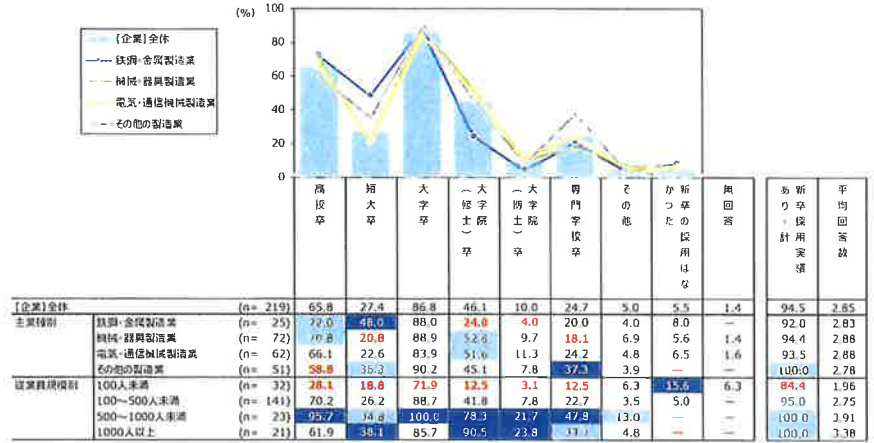
■従業員規模（全体／単一回答）





- ✓ 全体の95%が過去3年以内に新卒採用を実施
- ✓ 新卒者の最終学歴は「大学」(87%)が最も多い
 - 次いで「高校卒」(66%)、「短大卒」(27%)
 - 従業員規模別では「500人以上」の3年以内の採用実績は100%。

■ 3年以内の新卒者の最終学歴 (全体/単一回答)

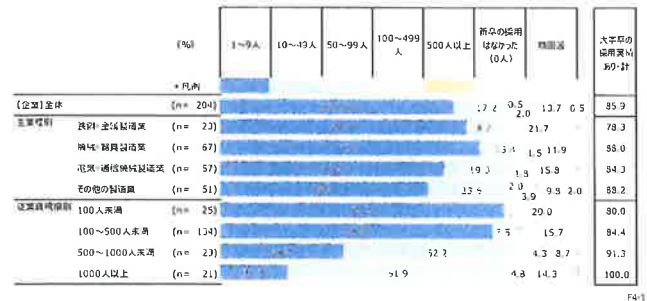


「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



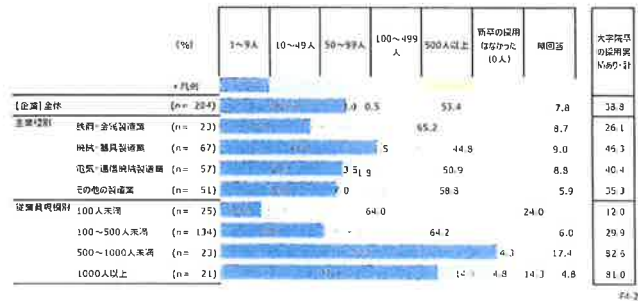
- ✓ 2018年4月入社の新卒採用時、大学卒の採用を行った企業は全体の86%
- 従業員規模が大きい企業ほど大学卒の採用実績は高い。

■ 2018年4月入社の新卒採用状況(大学卒) (過去3年間に新卒採用/単一回答)



- ✓ 2018年4月入社の新卒採用時、大学院卒の採用を行った企業は全体の39%
- 従業員規模が大きい企業は大学院卒の採用実績が高く、「500人以上」の規模になると8割を超える。

■ 2018年4月入社の新卒採用状況(大学院卒) (過去3年間に新卒採用/単一回答)

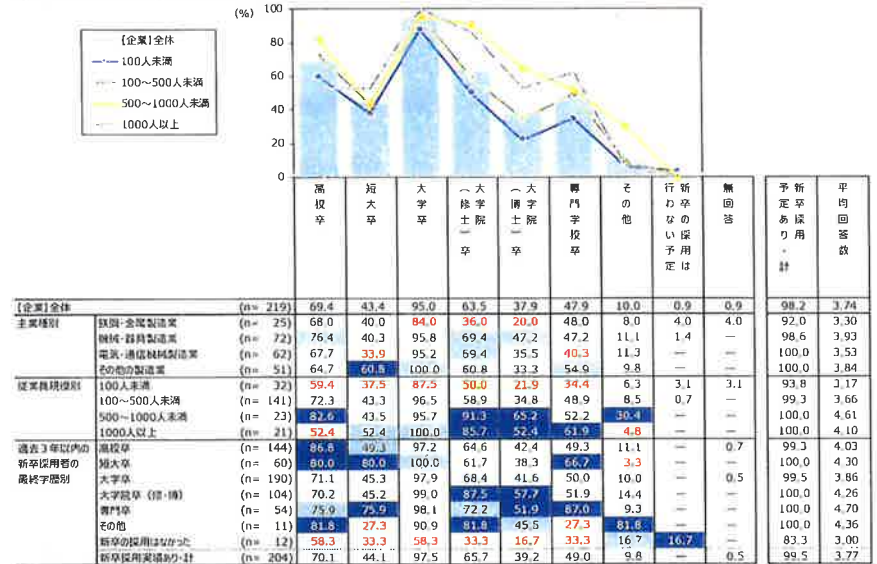




- ✓ 全体の98%が今後新卒採用予定あり
- ✓ 採用対象となる学歴は「大学卒」(95%)が最も多い
 - 次いで「高校卒」(69%)、「大学院(修士)卒」(64%)。

■今後の新卒採用予定の最終学歴 (全体/複数回答)

F6. 今後の新卒者の採用にあたり、どのような「最終学歴」の方の採用をお考えですか。(いくつでも)



「全体」より ■10ポイント以上高い/ 5ポイント以上高い/ 5ポイント以上低い

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



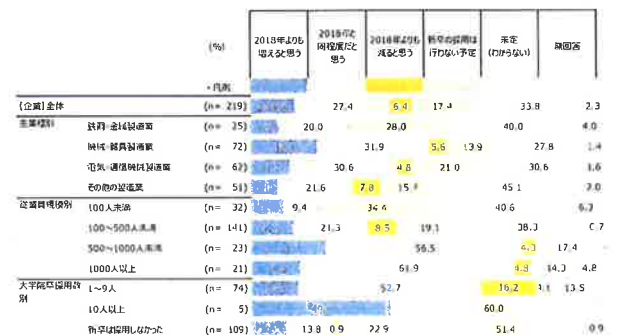
- ✓ 大学卒の2019年4月入社の新卒採用者数について、全体の38%が「2018年と同程度」の方針。
- 「2018年よりも増えると思う」は31%、「減ると思う」は12%。

■2019年4月入社の新卒採用予定(大学卒) (全体/単一回答)



- ✓ 大学院卒の2019年4月入社の新卒採用者数について、全体の27%が「2018年と同程度」の方針。
- 「2018年よりも増えると思う」は13%、「減ると思う」は17%。

■2019年4月入社の新卒採用予定(大学院卒) (全体/単一回答)



F1. 主業種		F2. 従業員規模		当該学部採用意向			Q6.京都市先端科学技術大学に対するご意見・ご要望
		Q3-1. 大学	Q3-2. 大学院	Q4. 学び直し制度有無			
<新たな貴学に期待>							
その他製造業	無回答	○	○	制度なし	新しい体制に変わり、一層魅力ある学生を育てられる京都市先端科学技術大学様に期待しております		
電気機械器具製造業	100~500人未満	○	×	制度なし	名前がガラッと変わられ、今までは文系のイメージでしたが、理系のイメージが強くなりました。益々のご発展をお祈り致します		
電気機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	生まれ変わる、ここからスタート、継続的進化に期待。やはり現場での採用、優秀な人材が必要		
<交流・情報交換を期待>							
金属製品製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	学生のリターン就職をバックアップして欲しい		
生産用機械器具製造業	100人未満	○	○	制度なし	求人を考えておりますので、一度担当の方とお話しをさせて頂ければと考えております。宜しくお願い申し上げます		
生産用機械器具製造業	100~500人未満	△	△	制度なし	学内セミナー等、都合の許す限り学生の皆さんと情報交換できる機会があれば参加させて頂きたいと考えます		
輸送用機械器具製造業	1000~3000人未満	○	○	制度あり：個人負担	機会があれば是非当社にお越し頂ける様な学生が出てくると良いなと思います		
金属製品製造業	100人未満	○	×	制度なし	大きな期待をしています。我々のような中小製造業とも接点があれば有り難いです		
<工学系の人材育成に期待>							
輸送用機械器具製造業	500~1000人未満	○	○	制度なし	実践で使えるエンジニア育成として超一流になる事を期待しています		
その他製造業	100~500人未満	○	○	制度あり：個人負担	食品分野でも機械はかなり進歩してきています。人手に代わる機械やロボットが安価で活躍できるような技術者を育成させる大学になっていけることを期待しています		
電気機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	新技術が不足する環境下では非常に重要な存在になると思います		
電気機械器具製造業	1000~3000人未満	○	○	制度なし	専門性と実践力を兼ね備えた学生、グローバルな感性を持った学生は貴重であるため、そのような学生の輩出に期待します		
電気機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度あり：会社負担	専門性を高め、関西圏の理系大学を引っ張って頂きたい		
その他製造業	100人未満	○	○	制度なし	即戦力となる人材の育成を期待しています。貴大学からの有望な卒業生の入社を要望申し上げます		
生産用機械器具製造業	100~500人未満	△	×	制度なし	現在京都市先端科学技術大学卒業の社員は7名在籍し活躍中です 当社では以前より理系の学生を求めており、その卒業生が増えるのは大歓迎です。 本来であれば院卒にも興味はあるのですが、地方の一企業では採用が困難ですので、 高卒、専門学校生卒、または中途採用を中心としております 当社では特に機械工学を学んだ学生を採用したいと考えており、AI技術や その他新しい技術を取り入れた介護ロボットの開発にも力を入れて頂きたいと考えておりますので、 優秀な人材を輩出されることを期待し、貴校の発展を心よりお祈り申し上げます		
その他製造業	100~500人未満	○	○	制度なし			
<産業発展の貢献に期待>							
はん用機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	日本の工業を盛り上げる一因となることを期待しています		
その他製造業	100~500人未満	△	△	制度なし	日本の製造業を更に発展させていく基盤づくり（人材づくり）に貢献して頂きたいです		
はん用機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	まだまだものづくり大国の日本には工学系人材が必要ですが、中小企業では採用が難しい		
<魅力的・優秀な人材を期待>							
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1000~3000人未満	○	○	制度あり：個人負担	魅力的で優秀な人材を期待しています		
電気機械器具製造業	1000~3000人未満	○	○	制度あり：個人負担	優秀なエンジニアが採用出来ることを楽しみにしております		
その他製造業	100~500人未満	○	○	制度あり：会社負担	良い人材を育てて頂けるなら新卒のエントリーをお待ちしています		
金属製品製造業	500~1000人未満	○	○	制度なし	ご数年、経済、経営の方を採用させて頂いております。 今後とも優秀な人材となる様な教育を期待しております。今後とも宜しくお願い申し上げます		

「京都市先端科学技術大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

京都先端科学大学大学院工学研究科

機械電気システム工学専攻への入学に関するアンケート調査結果

新研究科設置計画の実行にあたっては、実際の学生募集の対象としている学部新卒者や博士前期課程・修士課程新修了者の新研究科新専攻に対するニーズについて、客観的データに基づいて認識しておく必要がある。そこで本学では、理工系分野を専攻する他大学在籍学生等を対象とした Web アンケート調査を実施した。調査の概要と結果は以下の通りである。

▶ 調査目的

令和2年4月に開設を計画している京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻に関して、他大学理工系学部在籍学生、他大学大学院理工系研究科博士課程前期在籍学生、理工系高等専門学校在籍学生が期待する教育内容、進学希望等を本学側が的確に把握し、今後の計画推進のための参考資料とすることを目的とする。

▶ 調査対象と実施方法

他大学理工系学部在籍学生、他大学大学院理工系研究科博士前期課程在籍学生、理工系高等専門学校在籍学生を対象に、web アンケート調査を実施した。

調査実施に際しては、本研究科専任教員候補者と親交のある他大学理工系学部・理工系研究科教員、理工系高等専門学校教員に対して、教え子の学生に Web アンケート調査への回答をしてもらうよう、協力の依頼を行った。学生にコンタクト可能な教員からアンケート回答フォームの Web サイトに至る URL を学生にメール配信をしてもらい、学生から直接

回答を得ることができた。調査実施時には、回答者に対して新研究科新専攻に関する内容の周知を図る目的から、調査項目以外にリーフレット等も参照可能な形態を取った。

▶ 実施時期

令和元年6月27日(木)から令和元年7月2日(火)にかけて調査を実施した。

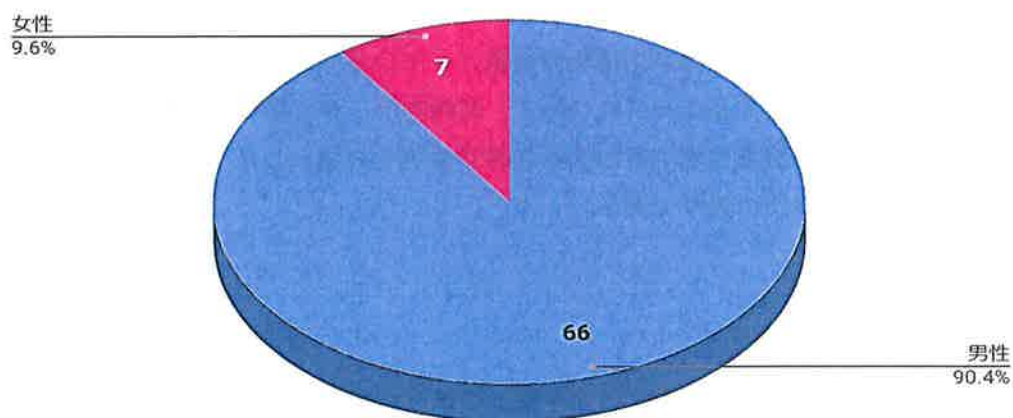
▶ 回収状況

他大学理工系学部在籍学生、他大学大学院理工系研究科博士課程前期在籍学生、理工系高等専門学校在籍学生を対象に、web アンケート調査を実施した結果、日本人学生66人、外国人留学生7人の合計73人の学生から有効回答を得ることができた。

調査結果

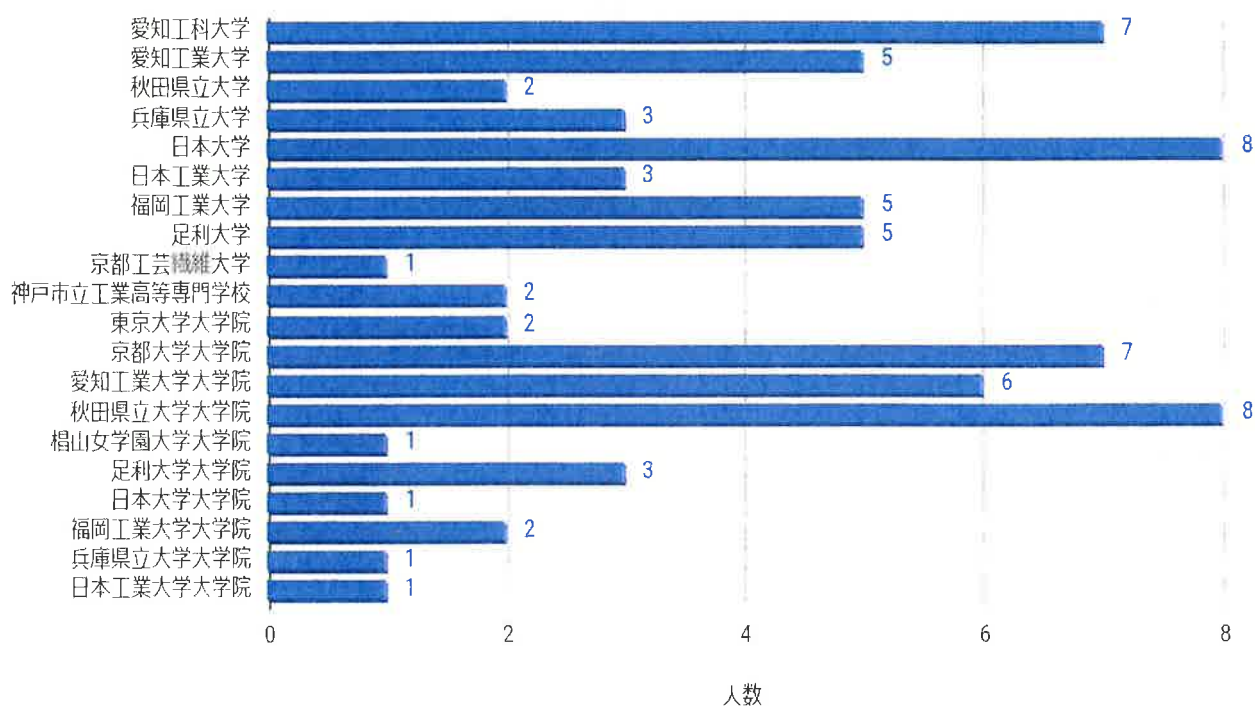
(1) 性別

回答者に「性別」について伺ったところ、「男性」が66人、「女性」が7人、となった。回答者の約9割以上が「男性」であることがわかった。



(2) 在学学校の種類

回答者の「問4 在学大学名」「問5 在学学部学科名」「問6 在学大学院の専攻名」の記載状況から、現在在学の学校種を判別すると、「学士課程（学部）在籍者」が39人、「高等専門学校」が2人、「大学院博士課程前期・修士課程」が32人となった。



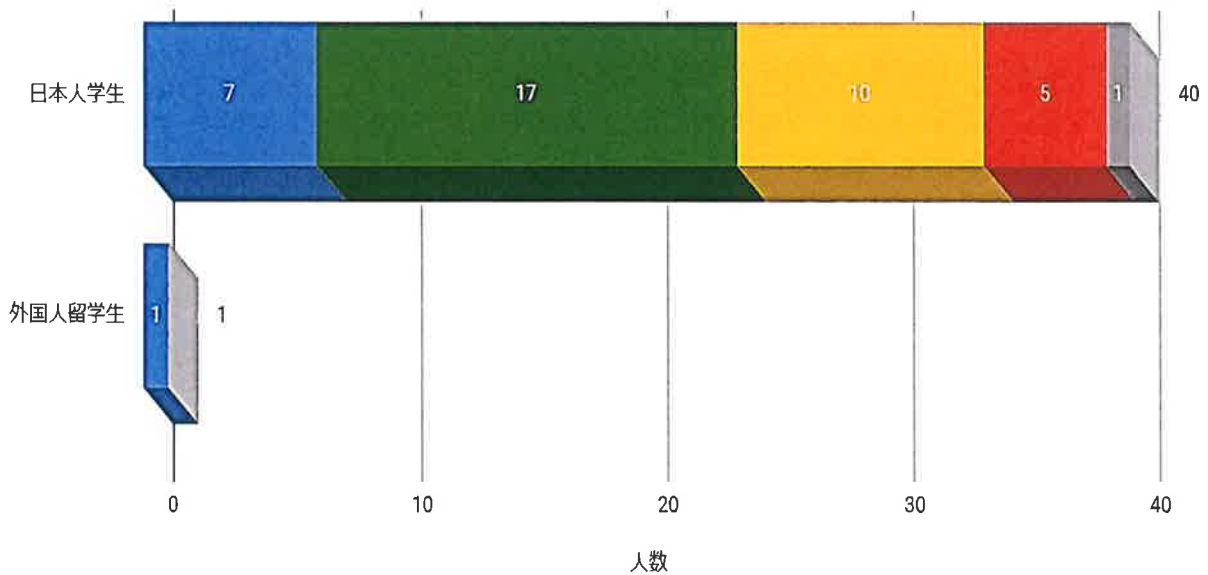
(3) 京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻への入学希望〔問9〕

学士課程（学部）と高等専門学校に在学する回答者 41 人に「京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻への入学希望」について伺ったところ、「ぜひ入学して学びたい」が日本人学生 7 人、外国人留学生 1 人の合計 8 人、「入学して学びたい」が日本人学生のみで 17 人、「あまり入学して学びたいと思わない」が日本人学生のみで 10 人、「まったく入学して学びたいと思わない」が日本人学生のみで 5 人、「自分の専門分野と異なる為、学部編入して学びたい」が日本人学生のみで 1 人、となった。

「ぜひ入学して学びたい」と「入学して学びたい」の合計は日本人学生 24 人、外国人留学生 1 人の合計 25 人であり、同専攻の入学定員 15 人に照らせば、学士課程（学部）と高等専門学校の在学者のみで約 1.7 倍の実数が得られた。

(9) 京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻への入学希望

- ぜひ入学して学びたい
- 入学して学びたい
- あまり入学して学びたいと思わない
- まったく入学して学びたいと思わない
- 自分の専門分野と異なる為、学部編入して学びたい



(4) 京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻への入学希望の主な意見
(当該大学院に「ぜひ入学して学びたい／入学して学びたい」と回答した人)

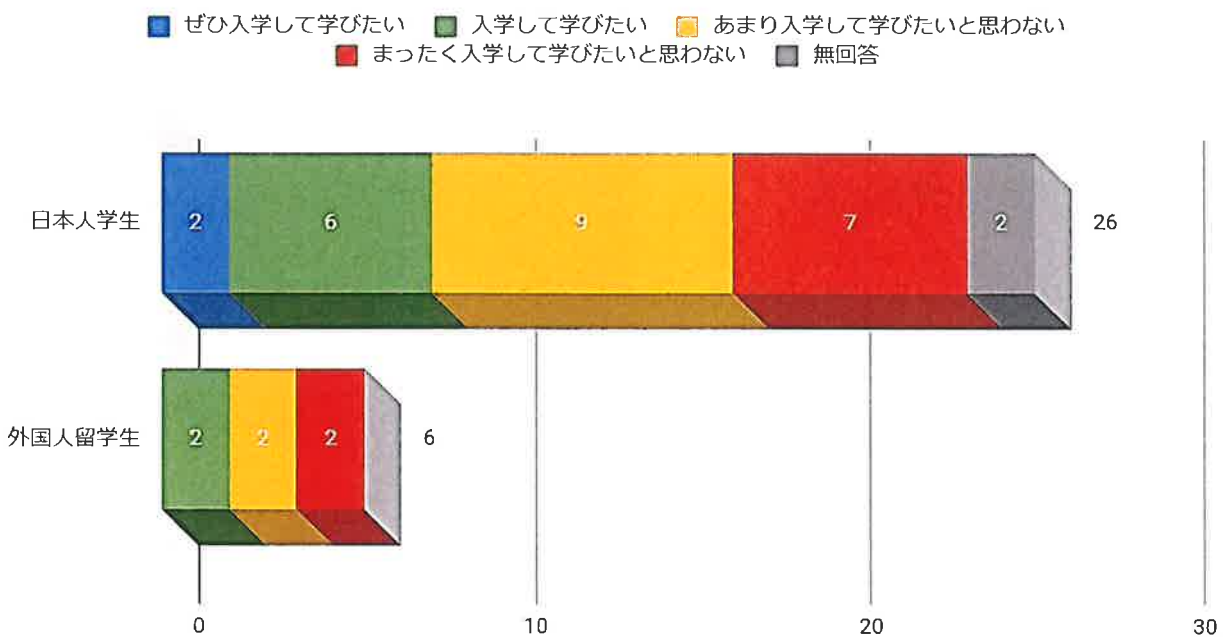
性別	年齢	入学希望理由
男性	21	新たな環境で学ぶということに興味がある。
男性	22	最先端の研究設備で研究したい。
男性	21	機械と電気の両方を学べるため。
男性	21	大学院の進学先を迷っているため。
男性	21	「モーター工学」や「ロボット工学」といったメカトロニクス分野を、世界最先端の水準で学ぶことが出来るためである。また、PBL型の学習によりチームで取り組むことで、学問だけでなく卒業後の実務にも活かすことが出来るためである。
男性	22	魅力的な要素が多いため。
男性	21	新たに新設される学部にて、様々な最先端の研究が行えたらと考えおります。
男性	21	新しい環境で新鮮な気持ちで研究を頑張りたいから。
男性	21	より高いレベルで勉強したい。
男性	22	できればチャレンジしてみたい。
女性	21	電気自動車やドローンなどこれからまだまだ発展の可能性のある分野をエンジニアという目線から学べるから。
男性	21	最先端技術への取り組みが魅力的だから。
男性	21	就職した際に学んだことが直接生きてきそうだから。
男性	22	高い専門技術のスキルと海外に向けた情報発信ができるようになりたいから。
女性	22	専門性をさらに高めたい。
男性	21	先生達が研究にアクティブだから。
男性	21	自分の知らない分野について、もっと多くのことを学びたいから。

(5) 京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻博士課程後期への入学希望〔問11〕

大学院博士課程前期・修士課程に在学する回答者 32 人に「京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻博士課程後期への入学希望」について伺ったところ、「ぜひ入学して学びたい」が日本人学生のみで 2 人、「入学して学びたい」が日本人学生 6 人、外国人留学生 2 人の合計 8 人、「あまり入学して学びたいと思わない」が日本人学生 9 人、外国人留学生 2 人の合計 11 人、「まったく入学して学びたいと思わない」が日本人学生 7 人、外国人留学生 2 人の合計 9 人、無回答が日本人学生のみで 2 人、となった。

「ぜひ入学して学びたい」と「入学して学びたい」の合計は日本人学生 8 人、外国人留学生 2 人の合計 10 人であり、同専攻の入学定員 2 人に照らせば、大学院博士課程前期・修士課程の在学者のみで 5.0 倍の実数が得られ、定員を満たす数値となった。

(11) 京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻後期課程への入学希望



(6) 京都先端科学大学大学院工学研究科機械電気システム工学専攻（後期課程）への入学希望者の主な意見

（当該大学院後期課程に「ぜひ入学して学びたい／入学して学びたい」と回答した人）

性別	年齢	入学希望理由
男性	45	教育研究が充実していて仕事力が身につくそうだから。
女性	40	研究や企業との関りなどから大きくステップアップが可能な印象があるため。
男性	23	より専門に特化した研究活動を最新の設備で行えることに魅力を感じる。

(7) ご意見・ご要望

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	22	とても魅力的で美しく感じました。2018年問題でも対応できると思いました。
男性	23	英語を早くから習熟させるのは非常に良い。
女性	40	強いリーダーシップで、ぜひ現代求められる大学像として牽引していただきたい。
男性	45	国内の私立大学をはじめ、国公立大学も注目していると思いますので、ぜひ頑張ってください。これからの私立大学の在り方を見せていただきたいです。
男性	21	充実した学習環境が用意されていることを期待します。
男性	24	入学したときから社会を身近に感じられて、魅力的な教授がいて素晴らしいと感じました。
男性	26	「新しい産業」が求めるエンジニアを育成できる、実践重視のカリキュラムである点が良いと感じました。

(8) 調査票／リーフレット

➤ 調査票

2019/7/2

京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻への入学に関するアンケート

京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻への入学に関するアンケート

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、京都先端科学大学（2019年4月に京都学園大学から名称変更）は、2020年4月に工学部ならびに工学研究科を設置するため文部科学省へ申請中です。

そこで、このたびの設置計画をより充実させるために、皆さまから率直な意見をお聞きし、工学部・工学研究科新設の参考にさせていただきたいと思い、アンケートを実施することとなりました。

ご回答内容については、他の目的で個人情報を使用することはございません。

大変お手数ではございますが、本URL：<https://www.kuas.ac.jp/request/>内の資料をご参考に、本調査の主旨をご理解の上、下記アンケートに何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。

敬具

回答期日：2019年7月2日（火）

学校法人 永守学園

*必須

京都先端科学大学大学院工学研究科の初年度の学費

<本学の構想する工学研究科と類似する近隣の工学研究科の初年度（1年次）の学費>

博士課程前期

(単位：名、円)

所在地	大学院名	研究科	専攻	入学定員	入学金	授業料	その他経費	初年度合計
京都	京都先端科学大学大学院	工学研究科 (博士課程前期)	機械電気システム工学専攻	15	200,000	850,000	350,000	1,200,000
滋賀	立命館大学大学院	理工学研究科 (修士)	機械システム専攻	140	300,000	1,150,000	0	1,450,000
大阪	関西大学大学院	理工学研究科 (修士)	システム工学専攻	125	130,000	1,139,000	0	1,269,000
京都	同志社大学大学院	理工学研究科 (博士課程前期)	機械工学専攻	80	200,000	615,000	259,000	1,274,000

博士課程後期

(単位：名、円)

所在地	大学院名	研究科	専攻	入学定員	入学金	授業料	その他経費	初年度合計
京都	京都先端科学大学大学院	工学研究科 (博士課程後期)	機械電気システム工学専攻	2	200,000	850,000	350,000	1,200,000
京都	同志社大学大学院	理工学研究科 (博士課程後期)	機械工学専攻	5	200,000	820,000	272,000	1,292,000

*学費については、諸余費などを含まない場合があるため、いわゆる初年度納入金額ではありません。概算として参考にしてください。

*工学研究科機械電気システム工学専攻(博士課程前期/博士課程後期)は設置構想中であり、名称、教育内容、募集人員、学費等については予定であり、変更される可能性があります。

1. (1) 性別 *

1つだけマークしてください。

- 男性
- 女性

2. (2) 年齢 *

3. (3) 現在のお住まい*

1つだけマークしてください。

- 京都
 大阪
 兵庫
 滋賀
 奈良
 和歌山
 東京
 その他: _____

4. (4) 大学名を教えてください。*

5. (5) 学部生の方は、学部・学科名を教えてください。(大学院生の方は(6)へお進み下さい。)

6. (6) 大学院博士前期課程の方は、専攻名を教えてください。(学部生の方は回答不要です。)

7. (7) あなたが日本人学生か、外国人留学生かを教えてください。*

1つだけマークしてください。

- 日本人学生
 外国人留学生

8. (8) 『京都先端科学大学大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻』について (A) 魅力的だと思う項目について、番号にチェックをつけてください。(複数回答可) (B) また、「他にはない」特徴だと思う項目について、番号にチェックをつけてください。(複数回答可)
 当てはまるものをすべて選択してください。

	(A)魅力的	(B)他にはない
京都先端科学大学大学院 という新しい校名になったこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キャンパスの立地 (地下鉄太秦天神川駅より徒歩3分)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT (on the Research Training)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者の育成を目指していること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研究対象となる学問分野の内容 (広義のメカトロニクス分野)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
関連する産業応用分野の内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導が受けられること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9. (9) 設置計画中の『京都先端科学大学大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻』で学ぶことについてどのようにお考えですか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。*

1つだけマークしてください。

- ぜひ入学して学びたい
- 入学して学びたい
- あまり入学して学びたいと思わない
- まったく入学して学びたいと思わない
- 自分の専門分野と異なる為、学部に入籍して学びたい

10. (10) 上記のようにお考えの理由を教えてください。

11. (11) 京都先端科学大学大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻（後期課程）について ※本説明については、修士卒・修士見込の方のみお答えください。*

1つだけマークしてください。

- ぜひ入学して学びたい
- 入学して学びたい
- あまり入学して学びたいと思わない
- まったく入学して学びたいと思わない

12. (12) 上記のようにお考えの理由を教えてください。

13. (13) 生まれ変わった「京都先端科学大学」に対するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

2 INTERVIEW

KAZUO OKI



PROFILE
 岡山県岡山市出身。1983年、東京大学工学部機械工学科卒業。1984年、同大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。1985年、同大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了。1986年、同大学工学部機械工学科助教授。1991年、同大学工学部機械工学科教授。1995年、同大学工学部機械工学科長。2000年、同大学工学部機械工学科長。2005年、同大学工学部機械工学科長。2010年、同大学工学部機械工学科長。2015年、同大学工学部機械工学科長。2020年、同大学工学部機械工学科長。

正確に測る。ただそれだけのことが、この国の農業を変える。



岡山県岡山市出身。1983年、東京大学工学部機械工学科卒業。1984年、同大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。1985年、同大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了。1986年、同大学工学部機械工学科助教授。1991年、同大学工学部機械工学科教授。1995年、同大学工学部機械工学科長。2000年、同大学工学部機械工学科長。2005年、同大学工学部機械工学科長。2010年、同大学工学部機械工学科長。2015年、同大学工学部機械工学科長。2020年、同大学工学部機械工学科長。

モーターの材料や電池に潜む、無限の可能性。



PROFILE
 フアト クチュク 氏 (Fuat Kucuk) は、トルコ出身のエンジニア。2000年に日本へ渡り、2005年に東京大学工学部機械工学科に入学。2008年に同大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。2011年に同大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了。2012年に同大学工学部機械工学科助教授。2015年に同大学工学部機械工学科教授。2020年に同大学工学部機械工学科長。

FUAT KUCUK

1 INTERVIEW

4 INTERVIEW

ZILU LIANG



PROFILE
 リャン ジルー 氏 (Zilu Liang) は、中国出身のエンジニア。2000年に日本へ渡り、2005年に東京大学工学部機械工学科に入学。2008年に同大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。2011年に同大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了。2012年に同大学工学部機械工学科助教授。2015年に同大学工学部機械工学科教授。2020年に同大学工学部機械工学科長。

検査は、病院で。この「当たりまえ」を変えに行く。



岡山県岡山市出身。1983年、東京大学工学部機械工学科卒業。1984年、同大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。1985年、同大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了。1986年、同大学工学部機械工学科助教授。1991年、同大学工学部機械工学科教授。1995年、同大学工学部機械工学科長。2000年、同大学工学部機械工学科長。2005年、同大学工学部機械工学科長。2010年、同大学工学部機械工学科長。2015年、同大学工学部機械工学科長。2020年、同大学工学部機械工学科長。

ロボットの「群れ」が、世界を救う。

岡山県岡山市出身。1983年、東京大学工学部機械工学科卒業。1984年、同大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。1985年、同大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了。1986年、同大学工学部機械工学科助教授。1991年、同大学工学部機械工学科教授。1995年、同大学工学部機械工学科長。2000年、同大学工学部機械工学科長。2005年、同大学工学部機械工学科長。2010年、同大学工学部機械工学科長。2015年、同大学工学部機械工学科長。2020年、同大学工学部機械工学科長。



PROFILE
 研尚 宏明 氏 (Hiroaki Fukushima) は、岡山県出身のエンジニア。2000年に日本へ渡り、2005年に東京大学工学部機械工学科に入学。2008年に同大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。2011年に同大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了。2012年に同大学工学部機械工学科助教授。2015年に同大学工学部機械工学科教授。2020年に同大学工学部機械工学科長。



HIROAKI FUKUSHIMA

3 INTERVIEW

